



学校法人五島育英会 東京都市大学 御中

# 2023年度 卒業後5年15年卒業生調査 結果報告書

2024年2月28日

**FUJIFILM**  
Value from Innovation



富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

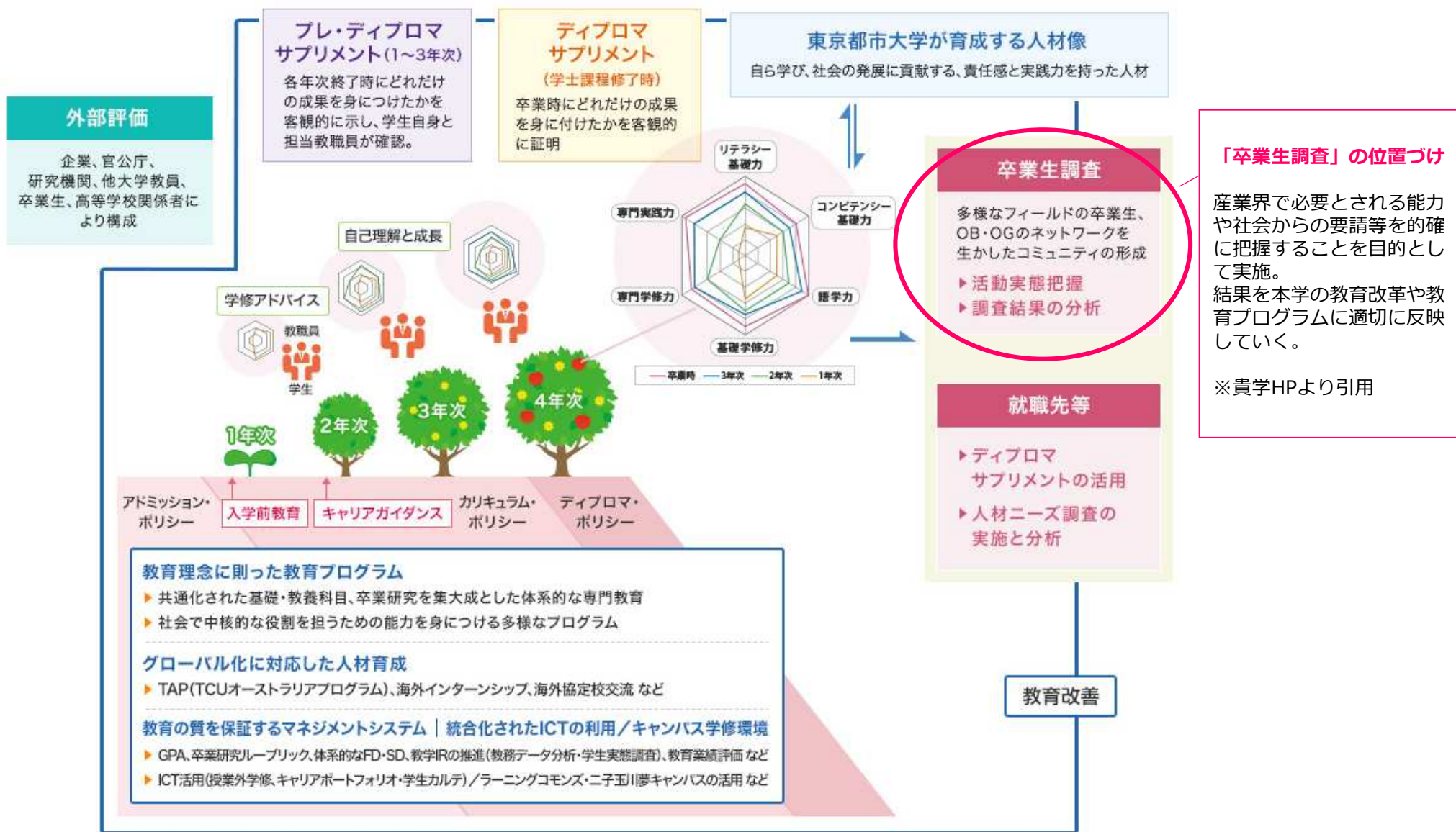
AIS事業本部 DPF部 BPO推進統括G

# 目次

---

1. 「卒業後5年15年調査」の位置づけ
2. 2023年度実施概要と結果サマリ
3. 回答者プロフィール
4. アンケート集計結果
5. アンケート結果まとめ

# 1. 「卒業後5年15年卒業生調査」の位置づけ



※貴学ホームページ「大学教育再生加速プログラム 事業概要」より

## 2. 2022年度実施概要と回答状況サマリ

	内容	備考
調査目的	卒業生の活動実態や大学に対する考えを把握するとともに、 <b>産業界で必要とされる能力や社会からの要請等を的確に把握し、その結果を教育改革や教育プログラムに適切に反映する</b>	
対象者	卒業年が <b>2018年（卒業後5年）</b> と <b>2008年（卒業後15年）</b> の東京都市大学卒業生（東京都市大学/旧武蔵工業大学/旧東横学園女子短期大学）	
設問内容	<b>下記内容の設問を聴取</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本項目（性/年齢/卒業年/出身学科/職業/業種/年収/転職経験 etc）</li> <li>・仕事に関する考え（仕事に求められること/仕事における実践度/進路希望と仕事の合致度/専門と業務内容の合致度 etc）</li> <li>・大学時代の自身に関する項目（成績/努力したこと/経験 etc）</li> <li>・大学に関する項目（満足度/誇り/進学推奨度/大学への期待 etc）</li> </ul>	
調査方法	<b>WEBアンケート（eメール配信）</b> ※未回答者にはリマインドメールを配信	2022年度同様
期間	<b>2023/12/25～2024/2/21</b>	2022年度同様
対象者数/回収数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象者数：1,283件</li> <li>・回収数：<b>64件</b>、回収率：<b>5.0%</b></li> </ul>	<b>【2022年度実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者数：1,458人</li> <li>・回収数84件、回収率5.8%</li> </ul>
謝礼	なし	2022年度同様
特記事項	2020年度調査より、謝礼無し、回答期間60日→30日、督促ハガキなし、といった形で効率化した実施方法を継続。そのタイミングで回収率が下がったが、本年度は昨年度の5.8%から回収率が若干低下。	

---

### 3. 回答者プロフィール

# 回答者プロフィール（性別/年齢/最終学歴）

## ●性別

- “2008年卒業生”では男性100%、“2018年卒業生”では男性75.0%女性25.0%

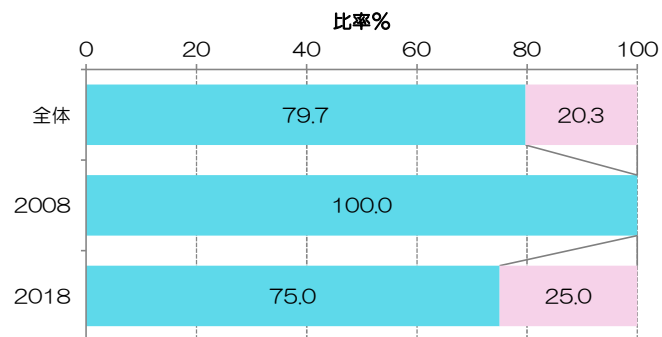
## 年齢

- 回答者の平均年齢は、“2008年卒業生”で38.8歳、“2018年卒業生”で29.6歳

## ●最終学歴

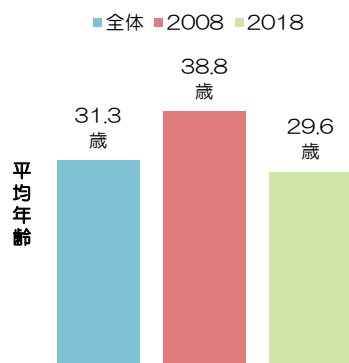
- 全体では、「四年制大学」と「大学院」でおよそ半々、“2008年卒業生”は「大学院」の方が多く、“2018年卒業生”は「四年制大学」の方が多い

性別  
■男性 ■女性



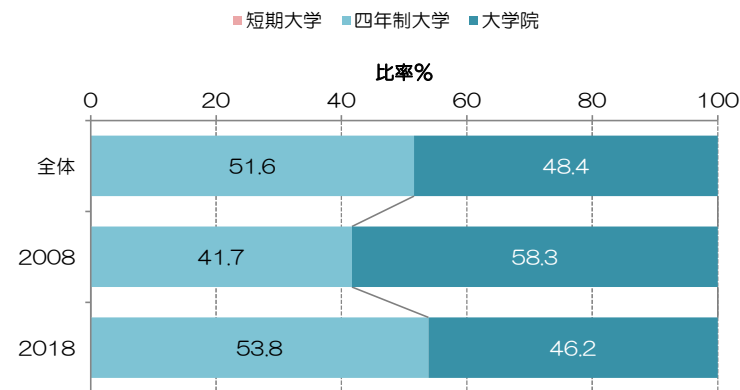
		n	男性	女性	
全体		64	51	13	
		100.0	79.7	20.3	
卒業年	2008		12	0	
			100.0	100.0	0.0
	2018		52	39	13
			100.0	75.0	25.0

年齢



	n	平均年齢
全体	64	31.3 歳
2008	12	38.8 歳
2018	52	29.6 歳

最終学歴



		n	短期大学	四年制大学	大学院	
全体		64	0	33	31	
		100.0	0.0	51.6	48.4	
卒業年	2008		0	5	7	
			100.0	0.0	41.7	58.3
	2018		52	0	28	24
			100.0	0.0	53.8	46.2

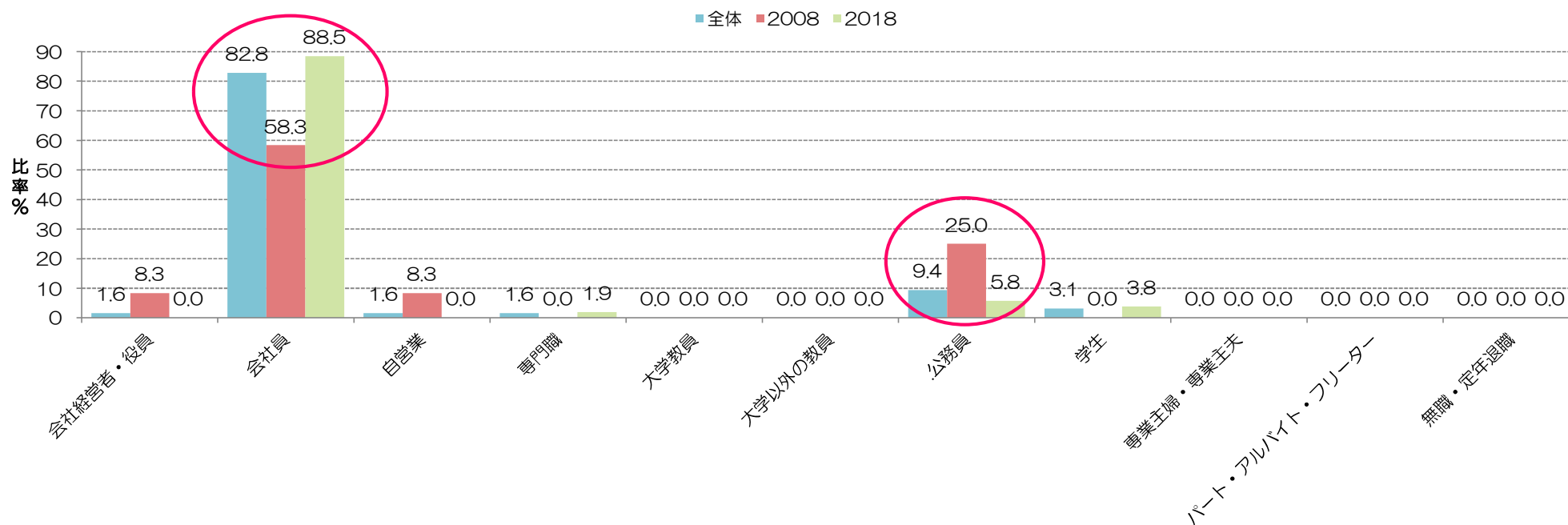
---

## 4. アンケート集計結果

# 現在の職業 (Q6)

- 例年通り、最も多い職業は「会社員」で、“全体”では82.8%（2018卒業生で比率が高く88.5%）
- 次いで多い職業も、例年通り「公務員」

Q6.現在の職業をお知らせください。



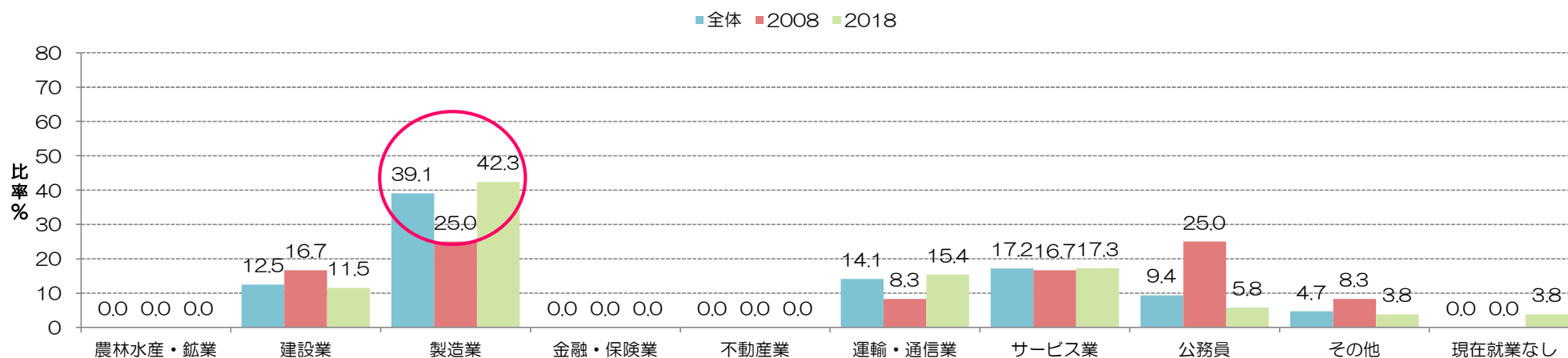
		n %	会社経営者・役員	会社員	自営業	専門職	大学教員	大学以外の教員	公務員	学生	専業主婦・専業主夫	パート・アルバイト・フリーター	無職・定年退職	その他
全体		64	1	53	1	1	0	0	6	2	0	0	0	0
		100.0	1.6	82.8	1.6	1.6	0.0	0.0	9.4	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
卒業年	2008		12	7	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
			100.0	8.3	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2018		52	0	46	0	1	0	0	3	2	0	0	0
			100.0	0.0	88.5	0.0	1.9	0.0	0.0	5.8	3.8	0.0	0.0	0.0



# 現在の業種 (Q7)

- 最も多い業種は「製造業」で、“全体”では39.1%（2018年卒業生で特に高く42.3%）
- 「サービス業」「運輸・通信業」「建設業」「公務員」も一定数存在

Q7.現在の業種をお知らせください。

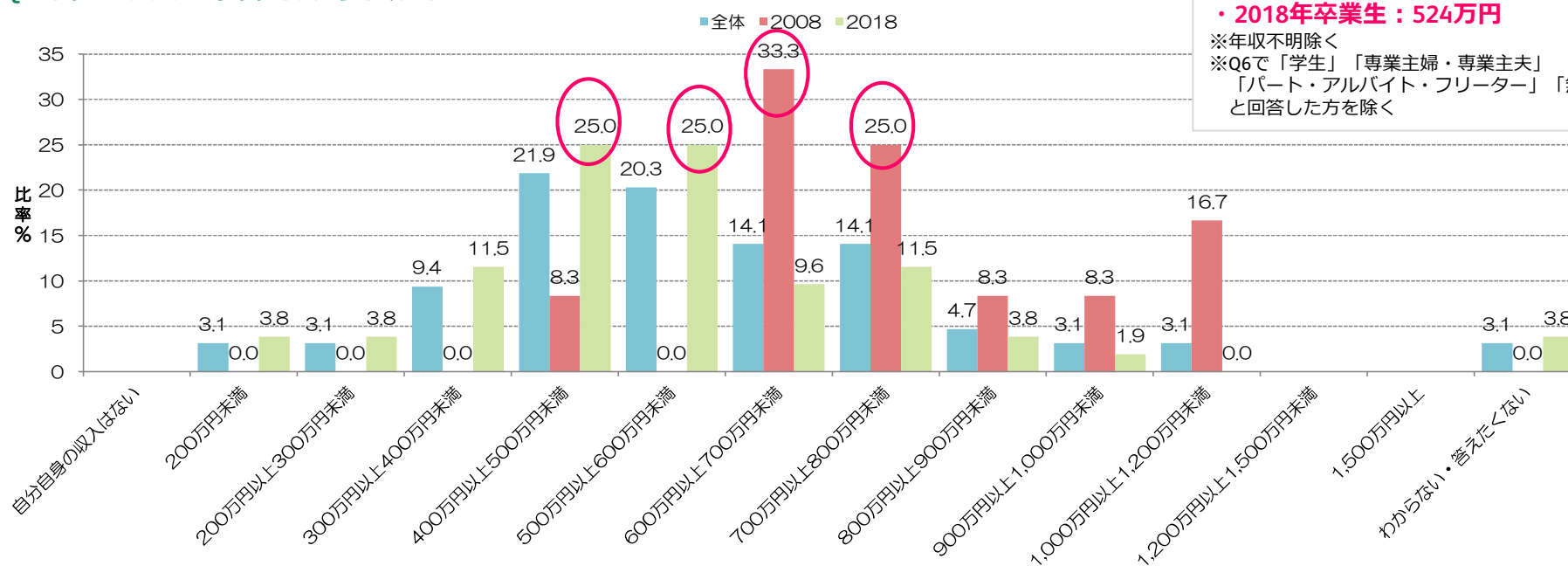


		n %	農林水産・鉱業	建設業	製造業	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	サービス業	公務員	その他	現在就業なし	
全体		64	0	8	25	0	0	9	11	6	3	0	
		100.0	0.0	12.5	39.1	0.0	0.0	14.1	17.2	9.4	4.7	0.0	
卒業年	2008		12	2	3	0	0	1	2	3	1	0	
			100.0	0.0	16.7	25.0	0.0	0.0	8.3	16.7	25.0	8.3	0.0
	2018		52	0	6	22	0	0	8	9	3	2	2
			100.0	0.0	11.5	42.3	0.0	0.0	15.4	17.3	5.8	3.8	3.8

# 昨年度の年収（Q8）

- “2008年卒業生”は「600～700万円」や「700～800万円」の比率が高い
- “2018年卒業生”は「400～500万円」「500～600万円」の比率が高い

Q8. 昨年度のおおまかな年収をお知らせください。



【参考】各範囲の中心値を活用した平均年収

・2008年卒業生：775万円

・2018年卒業生：524万円

※年収不明除く

※Q6で「学生」「専業主婦・専業主夫」

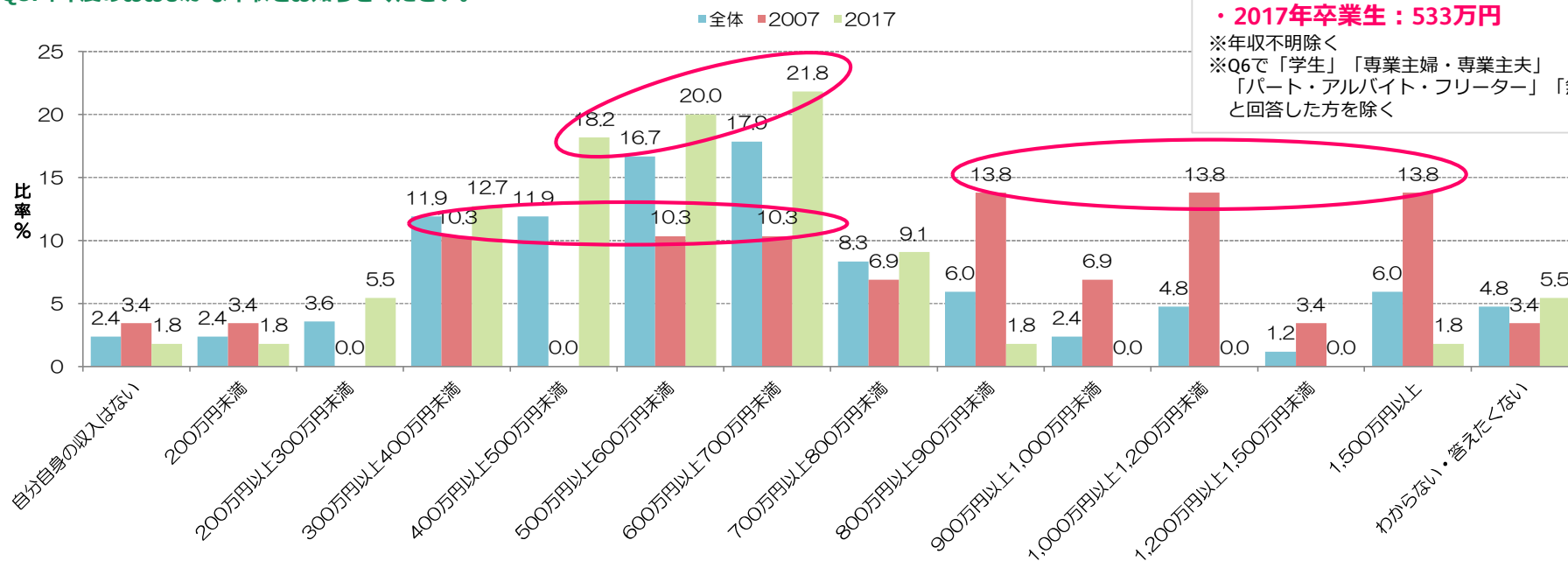
「パート・アルバイト・フリーター」「無職・定年退職」と回答した方を除く

		n	自分自身の収入はない	200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1,000万円未満	1,000万円以上1,200万円未満	1,200万円以上1,500万円未満	1,500万円以上	わからない・答えたくない	
全体		64	0	2	2	6	14	13	9	9	3	2	2	0	0	2	
		100.0	0.0	3.1	3.1	9.4	21.9	20.3	14.1	14.1	4.7	3.1	3.1	0.0	0.0	3.1	
卒業年	2008		12	0	0	0	1	0	4	3	1	1	2	0	0	0	
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3	25.0	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	2018		52	0	2	2	6	13	13	5	6	2	1	0	0	0	2
			100.0	0.0	3.8	3.8	11.5	25.0	25.0	9.6	11.5	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0	3.8

# 【参考：前回調査結果】昨年度の年収（Q8）

- “2007年卒業生”は「300～400万円」から「1500万円～」の範囲でバラつきが大きい
- “2017年卒業生”は「400～500万円」「500～600万円」「600～700万円」の層が多い

Q8.昨年度のおおまかな年収をお知らせください。



【参考】各範囲の中心値を活用した平均年収

・2007年卒業生：832万円

・2017年卒業生：533万円

※年収不明除く

※Q6で「学生」「専業主婦・専業主夫」

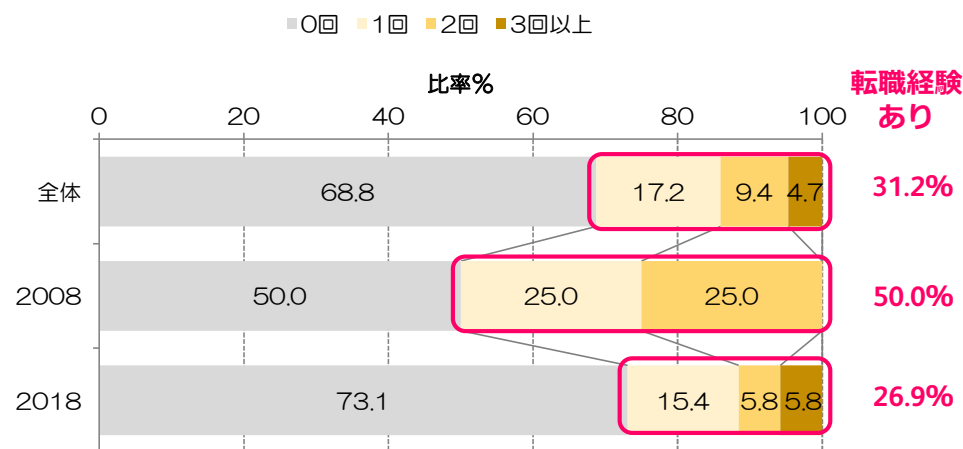
「パート・アルバイト・フリーター」「無職・定年退職」と回答した方を除く

		n %	自分自身の収入はない	200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満	700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1,000万円未満	1,000万円以上1,200万円未満	1,200万円以上1,500万円未満	1,500万円以上	わからない・答えたくない	
全体		84	2	2	3	10	10	14	15	7	5	2	4	1	5	4	
		100.0	2.4	2.4	3.6	11.9	11.9	16.7	17.9	8.3	6.0	2.4	4.8	1.2	6.0	4.8	
卒業年	2007		29	1	1	0	3	0	3	3	2	4	2	4	1	4	1
			100.0	3.4	3.4	0.0	10.3	0.0	10.3	10.3	6.9	13.8	6.9	13.8	3.4	13.8	3.4
	2017		55	1	1	3	7	10	11	12	5	1	0	0	0	1	3
			100.0	1.8	1.8	5.5	12.7	18.2	20.0	21.8	9.1	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	5.5

# 転職経験 (Q9)

- 1回でも転職経験のある方は“2008年卒業生”で50.0%（昨年37.9%）、“2018年卒業生”は26.9%（昨年18.2%）で、例年通り社会人歴の長い“2008年卒業生”の方が転職経験は高い
- また、昨年度よりも転職経験のある方が増加

Q9.あなたは今までに何度転職を経験されたことがありますか。



		n %	0回	1回	2回	3回以上	
全体		64	44	11	6	3	
		100.0	68.8	17.2	9.4	4.7	
卒業年	2008		12	6	3	3	
			100.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	2018		52	38	8	3	3
			100.0	73.1	15.4	5.8	5.8

# 仕事と進路希望の合致度 (Q10) / 専門と業務内容の合致度 (Q11)

## ●現在の仕事と進路希望の合致度 (Q10)

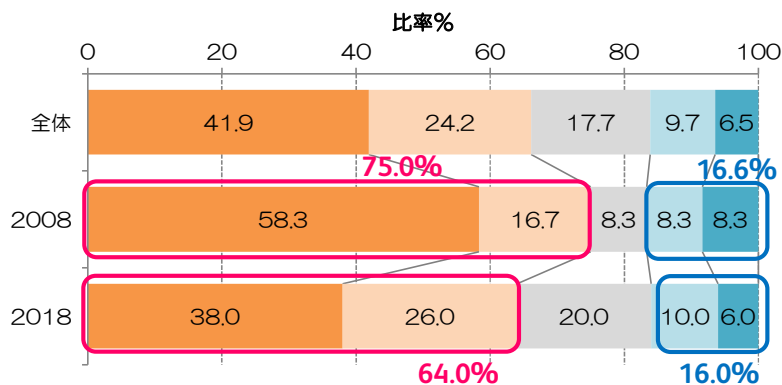
- “2008年卒業生”では75.0%、“2018年卒業生”では64.0%が合致していた (思う/そう思う) と回答
- ただし、卒業後5年目の“2018年卒業生”は昨年より合致したとの回答が減少 (昨年77.8%)

## ●大学で学んだ専門と業務内容の合致度 (Q11)

- “2008年卒業生”では66.7%、“2018年卒業生”では54.0%が合致していた (思う/そう思う) と回答
- ただし、進路希望の合致度と同様、卒業後5年目の“2018年卒業生”は昨年より合致したとの回答が減少 (昨年64.2%)

Q10.今の仕事は、大学卒業時点での進路希望と合致していると思いますか。  
(最も近いものをお選びください)

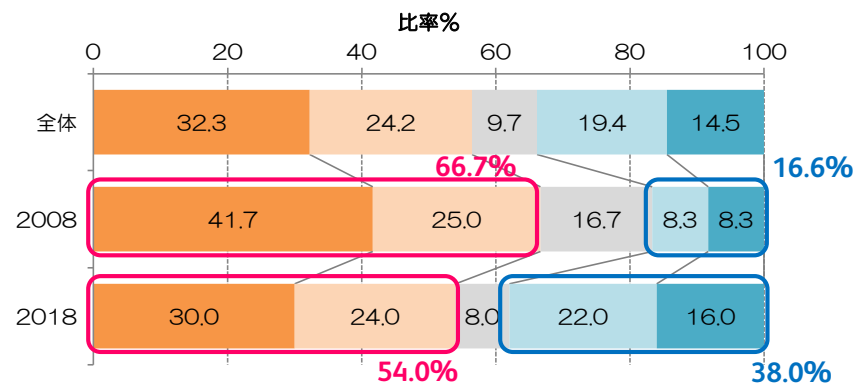
■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



		n	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	
全体		62	26	15	11	6	4	
		100.0	41.9	24.2	17.7	9.7	6.5	
卒業年	2008		12	7	2	1	1	
			100.0	58.3	16.7	8.3	8.3	8.3
	2018		50	19	13	10	5	3
			100.0	38.0	26.0	20.0	10.0	6.0

Q11.最終学歴となる学校で学んだ専門と、現在の仕事での業務内容は合致していると思いますか。(最も近いものをお選びください)

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



		n	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	
全体		62	20	15	6	12	9	
		100.0	32.3	24.2	9.7	19.4	14.5	
卒業年	2008		12	5	3	2	1	
			100.0	41.7	25.0	16.7	8.3	8.3
	2018		50	15	12	4	11	8
			100.0	30.0	24.0	8.0	22.0	16.0

※Q6で「学生」「専業主婦・専業主夫」「パート・アルバイト・フリーター」「無職・定年退職」を回答された方、また、回答不明の方を除く

【参考：前回調査結果】仕事と進路希望の合致度（Q10）/専門と業務内容の合致度（Q11）

●現在の仕事と進路希望の合致度（Q10）

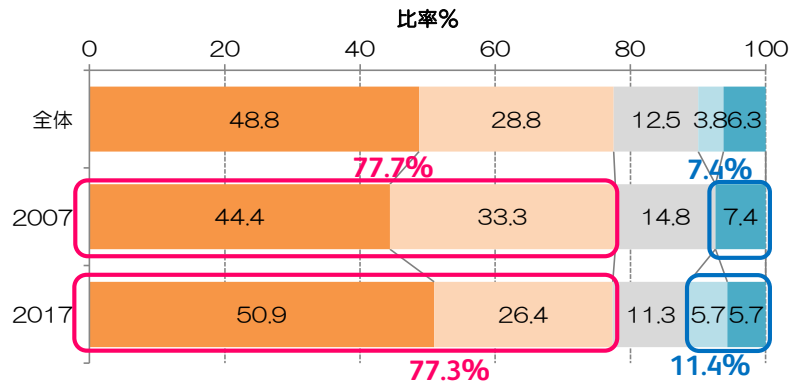
- “2007年卒業生”の方が「思う」の比率は高いが、「思う」「やや思う」の合算は“2007年卒業生”と“2017年卒業生”で同様。いずれにしても例年通り8割弱が合致していると考えている

●大学で学んだ専門と業務内容の合致度（Q11）

- “2017年卒業生”で「思う」「やや思う」の割合は年々増加傾向  
（2015年卒業生：53.3%→2016年卒業生：61.9%→2017年卒業生：64.2%）

Q10.今の仕事は、大学卒業時点での進路希望と合致していると思いますか。  
（最も近いものをお選びください）

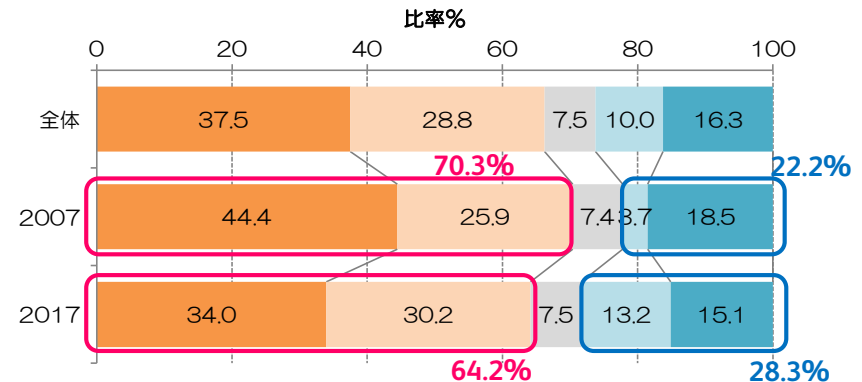
■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



	n	比率%					
		思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	
全体	80	39	23	10	3	5	
	100.0	48.8	28.8	12.5	3.8	6.3	
卒業年	2007	27	12	9	4	0	2
		100.0	44.4	33.3	14.8	0.0	7.4
	2017	53	27	14	6	3	3
		100.0	50.9	26.4	11.3	5.7	5.7

Q11.最終学歴となる学校で学んだ専門と、現在の仕事での業務内容は合致していると思いますか。（最も近いものをお選びください）

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



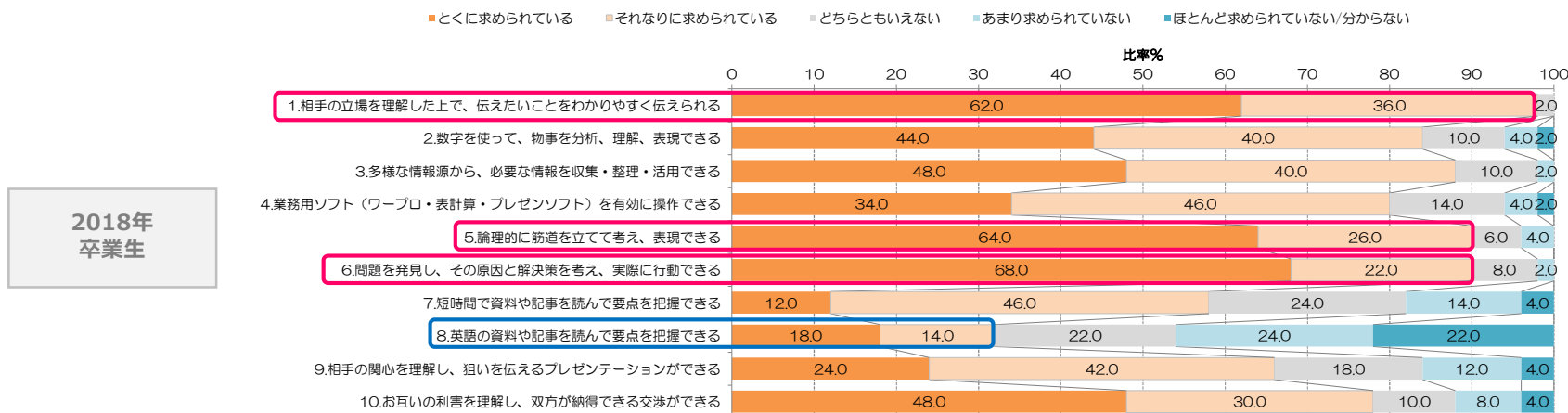
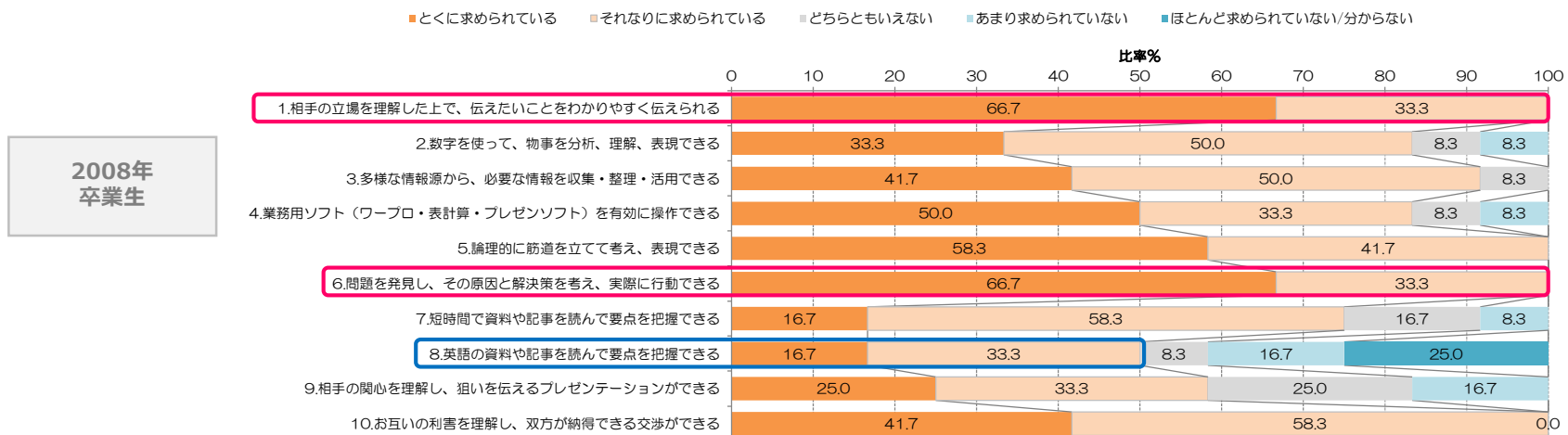
	n	比率%					
		思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	
全体	80	30	23	6	8	13	
	100.0	37.5	28.8	7.5	10.0	16.3	
卒業年	2007	27	12	7	2	1	5
		100.0	44.4	25.9	7.4	3.7	18.5
	2017	53	18	16	4	7	8
		100.0	34.0	30.2	7.5	13.2	15.1

※Q6で「学生」「専業主婦・専業主夫」「パート・アルバイト・フリーター」「無職・定年退職」を回答された方、また、回答不明の方を除く

# 仕事における要求 (Q12)

- “2008年卒業生”では「コミュニケーション能力 (1) 」や「問題発見・解決力 (6) 」など ※サンプル数少数な点に留意
- “2008年卒業生”では「コミュニケーション能力 (1) 」 「問題発見・解決力 (6) 」 「論理的思考能力 (5) 」などが高くなっている

Q12.あなたの今の仕事では、以下の「仕事における能力」に関する項目について、どのくらい求められていますか。  
(以下の各項目について、選択肢の中から最もあてはまる数字をお選びください)



# 仕事における要求 (Q12) ※数表

2008年  
卒業生

	n %	とくに求め られている	それなりに求 められている	どちらともい えない	あまり求めら れていない	ほとんど求め られていない /分からない
1.相手の立場を理解した上で、伝えたいことをわかりやすく伝えられる	12 100.0	8 66.7	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2.数字を使って、物事を分析、理解、表現できる	12 100.0	4 33.3	6 50.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0
3.多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる	12 100.0	5 41.7	6 50.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
4.業務用ソフト（ワープロ・表計算・プレゼンソフト）を有効に操作できる	12 100.0	6 50.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0
5.論理的に筋道を立てて考え、表現できる	12 100.0	7 58.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6.問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる	12 100.0	8 66.7	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7.短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる	12 100.0	2 16.7	7 58.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0
8.英語の資料や記事を読んで要点を把握できる	12 100.0	2 16.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	3 25.0
9.相手の関心を理解し、狙いを伝えるプレゼンテーションができる	12 100.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0
10.お互いの利害を理解し、双方が納得できる交渉ができる	12 100.0	5 41.7	7 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2018年  
卒業生

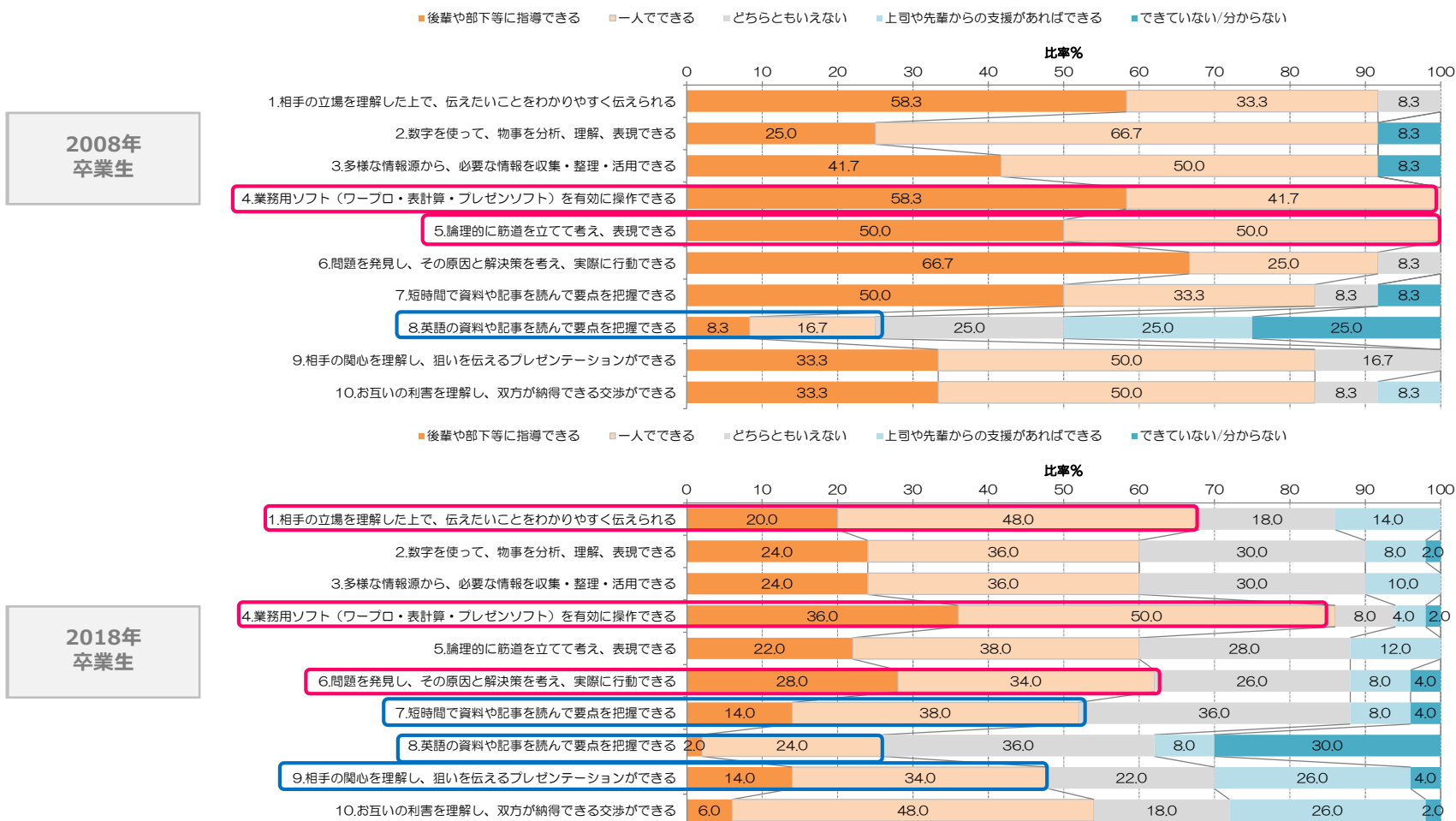
	n %	とくに求め られている	それなりに求 められている	どちらともい えない	あまり求めら れていない	ほとんど求め られていない /分からない
1.相手の立場を理解した上で、伝えたいことをわかりやすく伝えられる	50 100.0	31 62.0	18 36.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0
2.数字を使って、物事を分析、理解、表現できる	50 100.0	22 44.0	20 40.0	5 10.0	2 4.0	1 2.0
3.多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる	50 100.0	24 48.0	20 40.0	5 10.0	1 2.0	0 0.0
4.業務用ソフト（ワープロ・表計算・プレゼンソフト）を有効に操作できる	50 100.0	17 34.0	23 46.0	7 14.0	2 4.0	1 2.0
5.論理的に筋道を立てて考え、表現できる	50 100.0	32 64.0	13 26.0	3 6.0	2 4.0	0 0.0
6.問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる	50 100.0	34 68.0	11 22.0	4 8.0	1 2.0	0 0.0
7.短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる	50 100.0	6 12.0	23 46.0	12 24.0	7 14.0	2 4.0
8.英語の資料や記事を読んで要点を把握できる	50 100.0	9 18.0	7 14.0	11 22.0	12 24.0	11 22.0
9.相手の関心を理解し、狙いを伝えるプレゼンテーションができる	50 100.0	12 24.0	21 42.0	9 18.0	6 12.0	2 4.0
10.お互いの利害を理解し、双方が納得できる交渉ができる	50 100.0	24 48.0	15 30.0	5 10.0	4 8.0	2 4.0



# 仕事における実践（Q13）

- ・ 過去同様、全体的に社会人歴の長い卒業後15年目（2008年卒業生）の方が、実践できている割合は高い
- ・ “2008年卒業生”では「業務用ソフトの操作（4）」「論理的思考能力（5）」などが高い
- ・ “2018年卒業生”で「業務用ソフトの操作（4）」「コミュニケーション能力（1）」「論理的思考能力（5）」などが高い
- ・ また、「短時間での資料の要約（7）」「英語資料の要約（8）」「プレゼンテーション能力（9）」は比較的实践度が低め

Q13.あなた自身は以下の項目について、どの程度できていると思いますか。（以下の各項目について最もあてはまる数字をお選びください）



# 仕事における実践（Q13） ※数表

2008年  
卒業生

	n %	後輩や部下等に指導できる	一人でできる	どちらともいえない	上司や先輩からの支援があればできる	できていない/分からない
1.相手の立場を理解した上で、伝えたいことをわかりやすく伝えられる	12 100.0	7 58.3	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
2.数字を使って、物事を分析、理解、表現できる	12 100.0	3 25.0	8 66.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3
3.多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる	12 100.0	5 41.7	6 50.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3
4.業務用ソフト（ワープロ・表計算・プレゼンソフト）を有効に操作できる	12 100.0	7 58.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5.論理的に筋道を立てて考え、表現できる	12 100.0	6 50.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6.問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる	12 100.0	8 66.7	3 25.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
7.短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる	12 100.0	6 50.0	4 33.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3
8.英語の資料や記事を読んで要点を把握できる	12 100.0	1 8.3	2 16.7	3 25.0	3 25.0	3 25.0
9.相手の関心を理解し、狙いを伝えるプレゼンテーションができる	12 100.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0
10.お互いの利害を理解し、双方が納得できる交渉ができる	12 100.0	4 33.3	6 50.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0

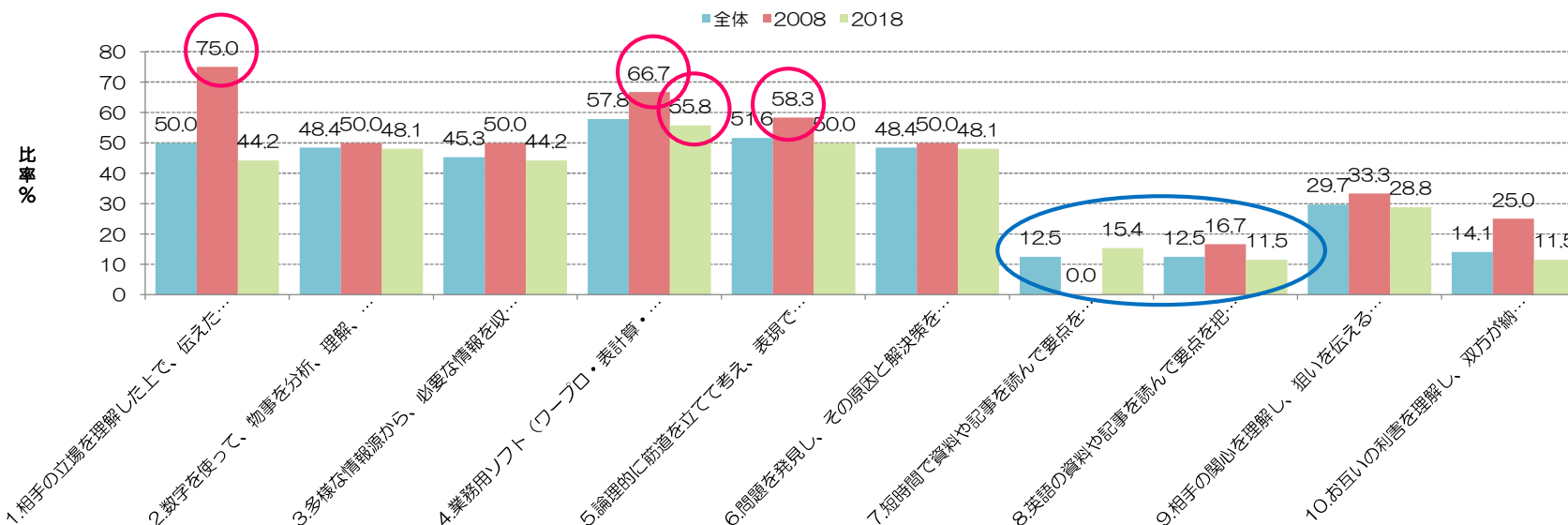
2018年  
卒業生

	n %	後輩や部下等に指導できる	一人でできる	どちらともいえない	上司や先輩からの支援があればできる	できていない/分からない
1.相手の立場を理解した上で、伝えたいことをわかりやすく伝えられる	50 100.0	10 20.0	24 48.0	9 18.0	7 14.0	0 0.0
2.数字を使って、物事を分析、理解、表現できる	50 100.0	12 24.0	18 36.0	15 30.0	4 8.0	1 2.0
3.多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる	50 100.0	12 24.0	18 36.0	15 30.0	5 10.0	0 0.0
4.業務用ソフト（ワープロ・表計算・プレゼンソフト）を有効に操作できる	50 100.0	18 36.0	25 50.0	4 8.0	2 4.0	1 2.0
5.論理的に筋道を立てて考え、表現できる	50 100.0	11 22.0	19 38.0	14 28.0	6 12.0	0 0.0
6.問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる	50 100.0	14 28.0	17 34.0	13 26.0	4 8.0	2 4.0
7.短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる	50 100.0	7 14.0	19 38.0	18 36.0	4 8.0	2 4.0
8.英語の資料や記事を読んで要点を把握できる	50 100.0	1 2.0	12 24.0	18 36.0	4 8.0	15 30.0
9.相手の関心を理解し、狙いを伝えるプレゼンテーションができる	50 100.0	7 14.0	17 34.0	11 22.0	13 26.0	2 4.0
10.お互いの利害を理解し、双方が納得できる交渉ができる	50 100.0	3 6.0	24 48.0	9 18.0	13 26.0	1 2.0

# 大学の経験が活かしているもの（Q14）

- 大学の経験（授業・研究・ゼミ）が活かせていると感じているのは、“2008年卒業生”では「コミュニケーション能力（1）」や「業務用ソフトの操作（4）」、“2018年卒業生”では「業務用ソフトの操作（4）」
- 「短時間での資料の要約（7）」や「英語資料の要約（8）」は共通して低い（これらは要求度はあまり高くない）

Q14.以下の項目について、大学時代の授業・研究・ゼミ等の経験が活かせていると感じるものを教えてください。（あてはまるもの全てをお選びください）

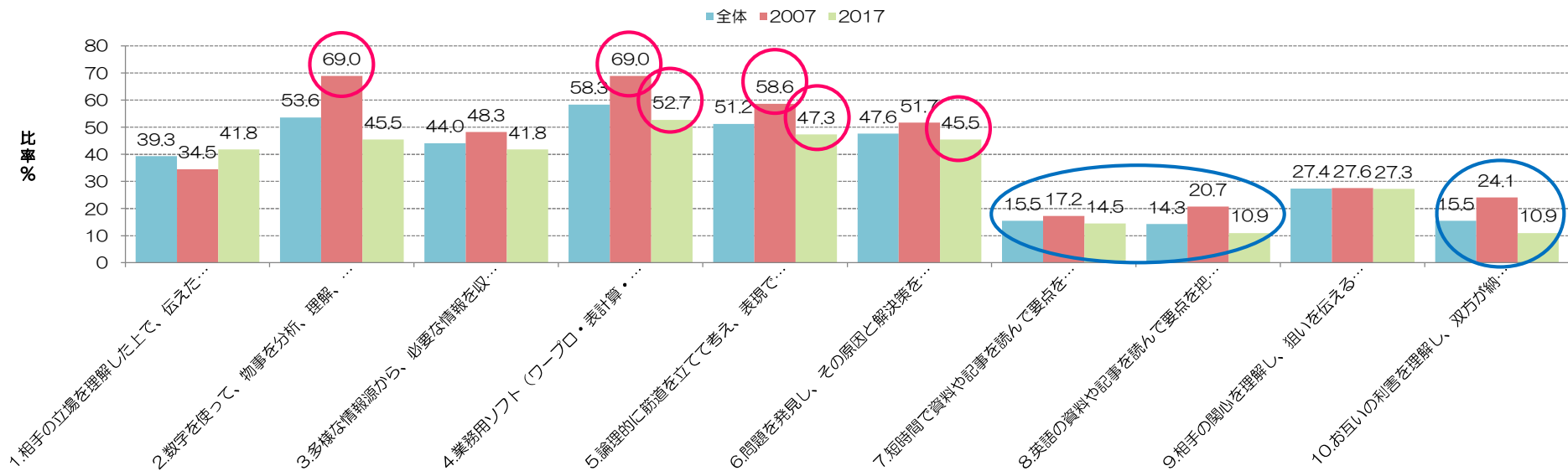


	n	項目										
		1.相手の立場を理解した上で、伝えたい	2.数字を使って、物事を分析、理解、表現できる	3.多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる	4.業務用ソフト（ワープロ・表計算・プレゼンソフト）を有効に操作できる	5.論理的に筋道を立てて考え、表現できる	6.問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる	7.短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる	8.英語の資料や記事を読んで要点を把握できる	9.相手の関心を理解し、狙いを伝えるプレゼンテーションができる	10.お互いの利害を理解し、双方が納得できる交渉ができる	
全体	64	32	31	29	37	33	31	8	8	19	9	
	100.0	50.0	48.4	45.3	57.8	51.6	48.4	12.5	12.5	29.7	14.1	
卒業年	2008	12	9	6	6	8	7	6	0	2	4	3
	100.0	75.0	50.0	50.0	66.7	58.3	50.0	0.0	16.7	33.3	25.0	
2018	52	23	25	23	29	26	25	8	6	15	6	
	100.0	44.2	48.1	44.2	55.8	50.0	48.1	15.4	11.5	28.8	11.5	

# 【参考：前回調査結果】大学の経験が活かしているもの（Q14）

- 大学の経験（授業・研究・ゼミ）が活かしていると最も感じているのは、「業務用ソフトの操作（4）」でこれは各卒業年で同じ。他にも、「論理的思考能力（5）」も各卒業年で高くなっている
- 「短時間での資料の要約（7）」や「英語資料の要約（8）」「交渉力（10）」は共通して低い

Q14.以下の項目について、大学時代の授業・研究・ゼミ等の経験が活かしていると感じるものを教えてください。（あてはまるもの全てをお選びください）

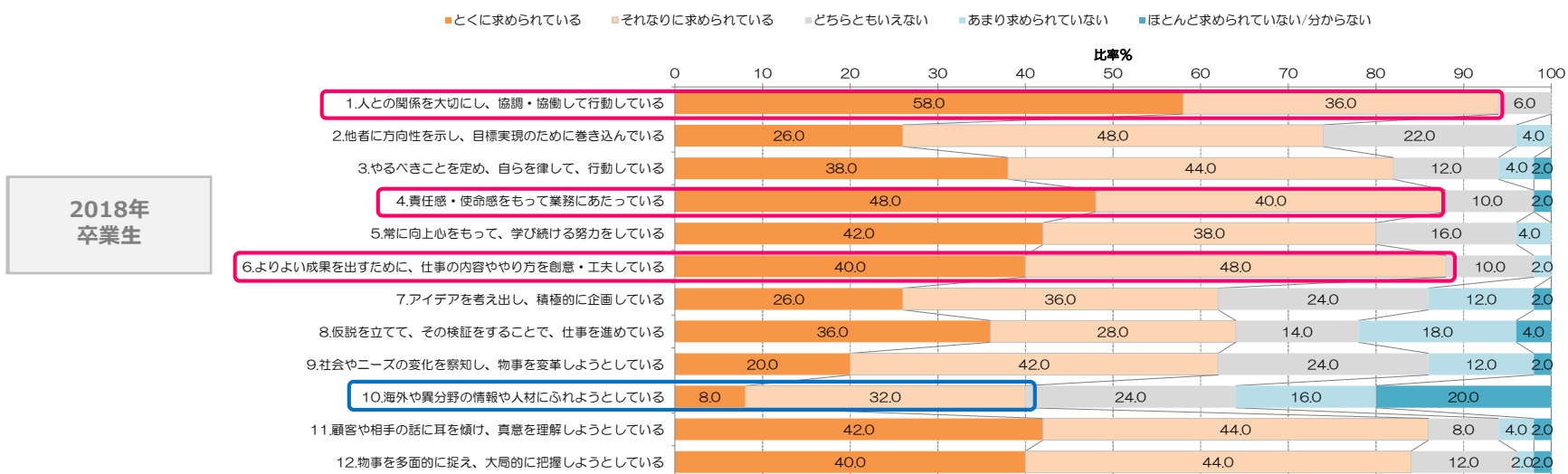
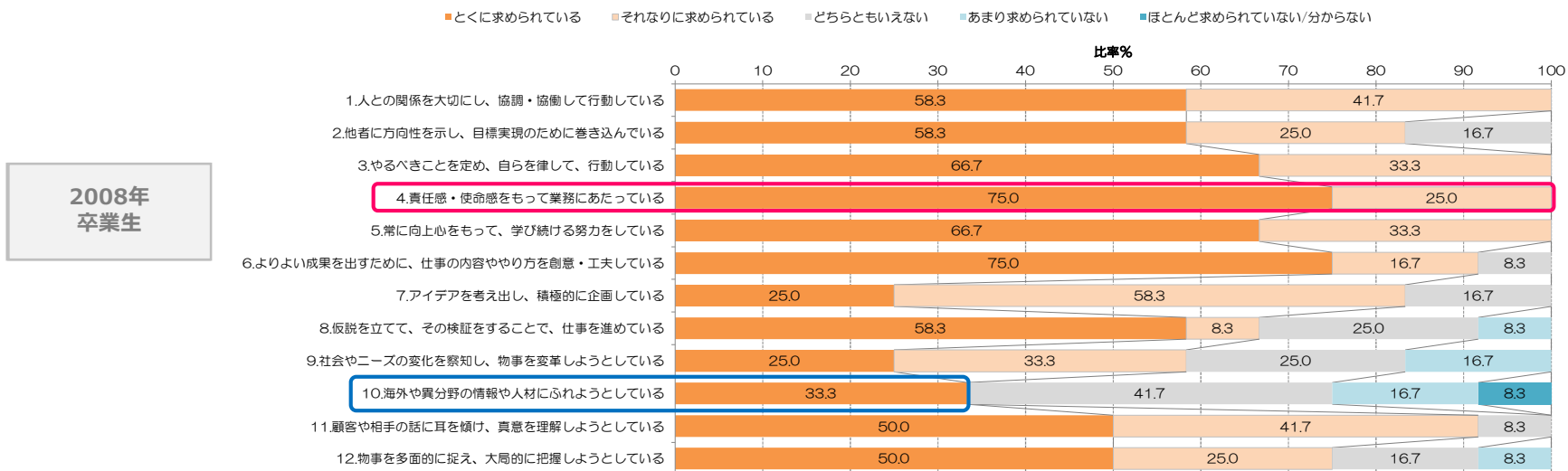


		n	1.相手の立場を理解した上で、伝えたいことをわかりやすく伝えられる	2.数字を使って、物事を分析、理解、表現できる	3.多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる	4.業務用ソフト（ワープロ・表計算・プレゼンソフト）を有効に操作できる	5.論理的に筋道を立てて考え、表現できる	6.問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる	7.短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる	8.英語の資料や記事を読んで要点を把握できる	9.相手の関心を理解し、狙いを伝えるプレゼンテーションができる	10.お互いの利害を理解し、双方が納得できる交渉ができる	
全体	n	84	33	45	37	49	43	40	13	12	23	13	
	%	100.0	39.3	53.6	44.0	58.3	51.2	47.6	15.5	14.3	27.4	15.5	
卒業年	2007	n	29	10	20	14	20	17	15	5	6	8	7
		%	100.0	34.5	69.0	48.3	69.0	58.6	51.7	17.2	20.7	27.6	24.1
	2017	n	55	23	25	23	29	26	25	8	6	15	6
		%	100.0	41.8	45.5	41.8	52.7	47.3	45.5	14.5	10.9	27.3	10.9

# 仕事における要求 (Q15)

- “2008年卒業生”では「責任感・使命感 (4)」が要求が高いと感じている
- “2018年卒業生”では「協調性 (1)」 「責任感・使命感 (4)」 「創意工夫 (6)」などが高い

Q15.あなたの今の仕事では、以下の「仕事に対する姿勢」に関する項目について、どのくらい求められていますか。  
(以下の各項目について、選択肢の中から最もあてはまる数字をお選びください)



# 仕事における要求 (Q15) ※数表

2008年  
卒業生

	n %	とくに求め られている	それなりに求 められている	どちらともい えない	あまり求めら れていない	ほとんど求め られていない /分からない
1.人との関係を大切に、協調・協働して行動している	12 100.0	7 58.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2.他者に方向性を示し、目標実現のために巻き込んでいる	12 100.0	7 58.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0
3.やるべきことを定め、自らを律して、行動している	12 100.0	8 66.7	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4.責任感・使命感をもって業務にあたっている	12 100.0	9 75.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5.常に向上心をもって、学び続ける努力をしている	12 100.0	8 66.7	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6.よりよい成果を出すために、仕事の内容ややり方を創意・工夫している	12 100.0	9 75.0	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0
7.アイデアを考え出し、積極的に企画している	12 100.0	3 25.0	7 58.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0
8.仮説を立てて、その検証をすることで、仕事を進めている	12 100.0	7 58.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0
9.社会やニーズの変化を察知し、物事を変革しようとしている	12 100.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0
10.海外や異分野の情報や人材にふれようとしている	12 100.0	4 33.3	0 0.0	5 41.7	2 16.7	1 8.3
11.顧客や相手の話に耳を傾け、真意を理解しようとしている	12 100.0	6 50.0	5 41.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0
12.物事を多面的に捉え、大局的に把握しようとしている	12 100.0	6 50.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	0 0.0

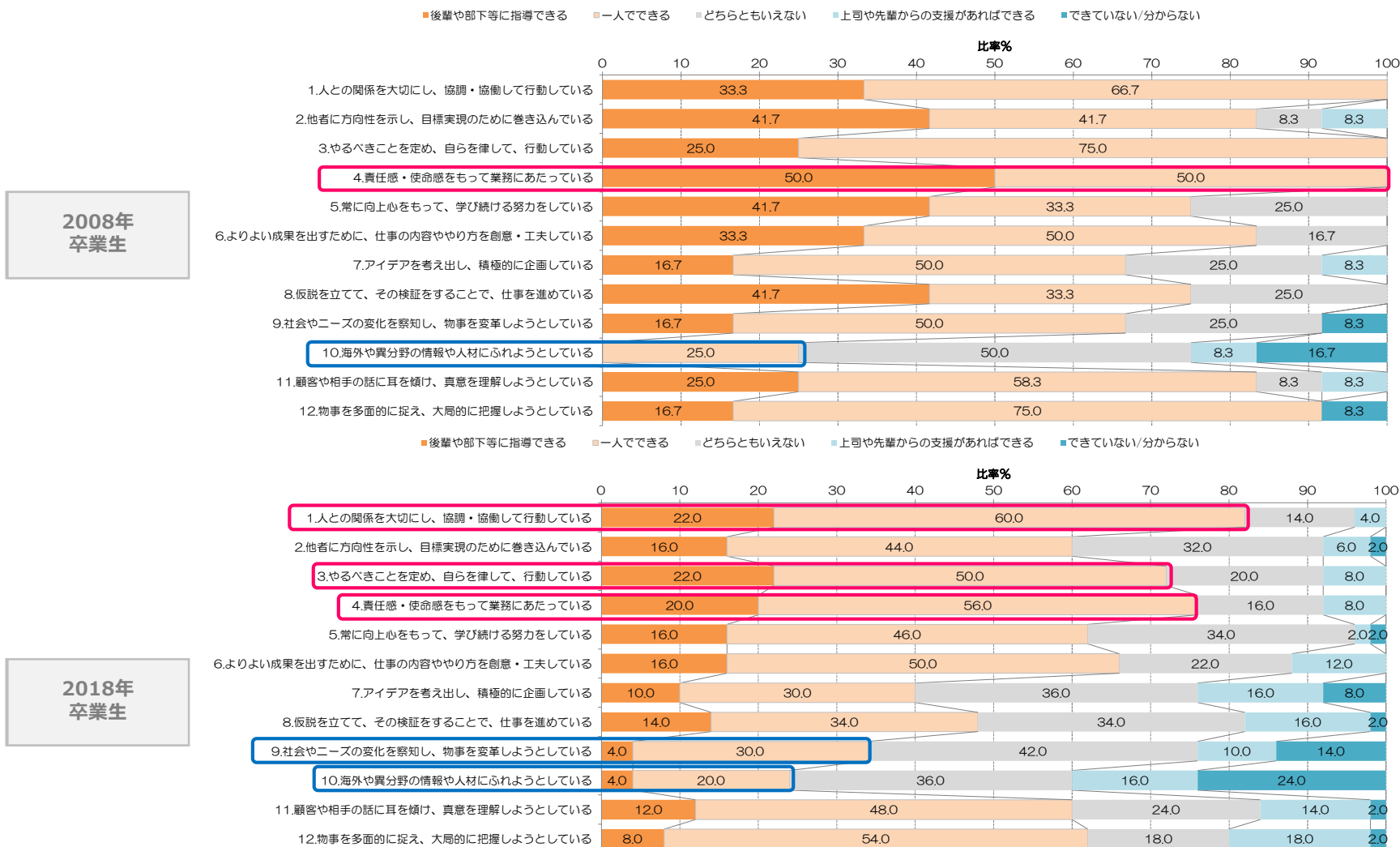
2018年  
卒業生

	n %	とくに求め られている	それなりに求 められている	どちらともい えない	あまり求めら れていない	ほとんど求め られていない /分からない
1.人との関係を大切に、協調・協働して行動している	50 100.0	29 58.0	18 36.0	3 6.0	0 0.0	0 0.0
2.他者に方向性を示し、目標実現のために巻き込んでいる	50 100.0	13 26.0	24 48.0	11 22.0	2 4.0	0 0.0
3.やるべきことを定め、自らを律して、行動している	50 100.0	19 38.0	22 44.0	6 12.0	2 4.0	1 2.0
4.責任感・使命感をもって業務にあたっている	50 100.0	24 48.0	20 40.0	5 10.0	0 0.0	1 2.0
5.常に向上心をもって、学び続ける努力をしている	50 100.0	21 42.0	19 38.0	8 16.0	2 4.0	0 0.0
6.よりよい成果を出すために、仕事の内容ややり方を創意・工夫している	50 100.0	20 40.0	24 48.0	5 10.0	1 2.0	0 0.0
7.アイデアを考え出し、積極的に企画している	50 100.0	13 26.0	18 36.0	12 24.0	6 12.0	1 2.0
8.仮説を立てて、その検証をすることで、仕事を進めている	50 100.0	18 36.0	14 28.0	7 14.0	9 18.0	2 4.0
9.社会やニーズの変化を察知し、物事を変革しようとしている	50 100.0	10 20.0	21 42.0	12 24.0	6 12.0	1 2.0
10.海外や異分野の情報や人材にふれようとしている	50 100.0	4 8.0	16 32.0	12 24.0	8 16.0	10 20.0
11.顧客や相手の話に耳を傾け、真意を理解しようとしている	50 100.0	21 42.0	22 44.0	4 8.0	2 4.0	1 2.0
12.物事を多面的に捉え、大局的に把握しようとしている	50 100.0	20 40.0	22 44.0	6 12.0	1 2.0	1 2.0

# 仕事における実践 (Q16)

- “2008卒業生”では「責任感・使命感 (4)」の実践度が高い
- “2018卒業生”では「協調性 (1)」「責任感・使命感 (4)」「自律性 (3)」などが高く、「変革 (9)」や「海外への関心 (10)」は低め

Q16.あなた自身は以下の項目について、どの程度できていると思いますか。(以下の各項目について最もあてはまるものをお選びください)



# 仕事における実践（Q16）※数表

2008年  
卒業生

	n %	後輩や部下等に指導できる	一人でできる	どちらともいえない	上司や先輩からの支援があればできる	できていない/分からない
1.人との関係を大切に、協調・協働して行動している	12 100.0	4 33.3	8 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2.他者に方向性を示し、目標実現のために巻き込んでいる	12 100.0	5 41.7	5 41.7	1 8.3	1 8.3	0 0.0
3.やるべきことを定め、自らを律して、行動している	12 100.0	3 25.0	9 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4.責任感・使命感をもって業務にあたっている	12 100.0	6 50.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5.常に向上心をもって、学び続ける努力をしている	12 100.0	5 41.7	4 33.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0
6.よりよい成果を出すために、仕事の内容ややり方を創意・工夫している	12 100.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0
7.アイデアを考え出し、積極的に企画している	12 100.0	2 16.7	6 50.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0
8.仮説を立てて、その検証をすることで、仕事を進めている	12 100.0	5 41.7	4 33.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0
9.社会やニーズの変化を察知し、物事を変革しようとしている	12 100.0	2 16.7	6 50.0	3 25.0	0 0.0	1 8.3
10.海外や異分野の情報や人材にふれようとしている	12 100.0	0 0.0	3 25.0	6 50.0	1 8.3	2 16.7
11.顧客や相手の話に耳を傾け、真意を理解しようとしている	12 100.0	3 25.0	7 58.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0
12.物事を多面的に捉え、大局的に把握しようとしている	12 100.0	2 16.7	9 75.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3

2018年  
卒業生

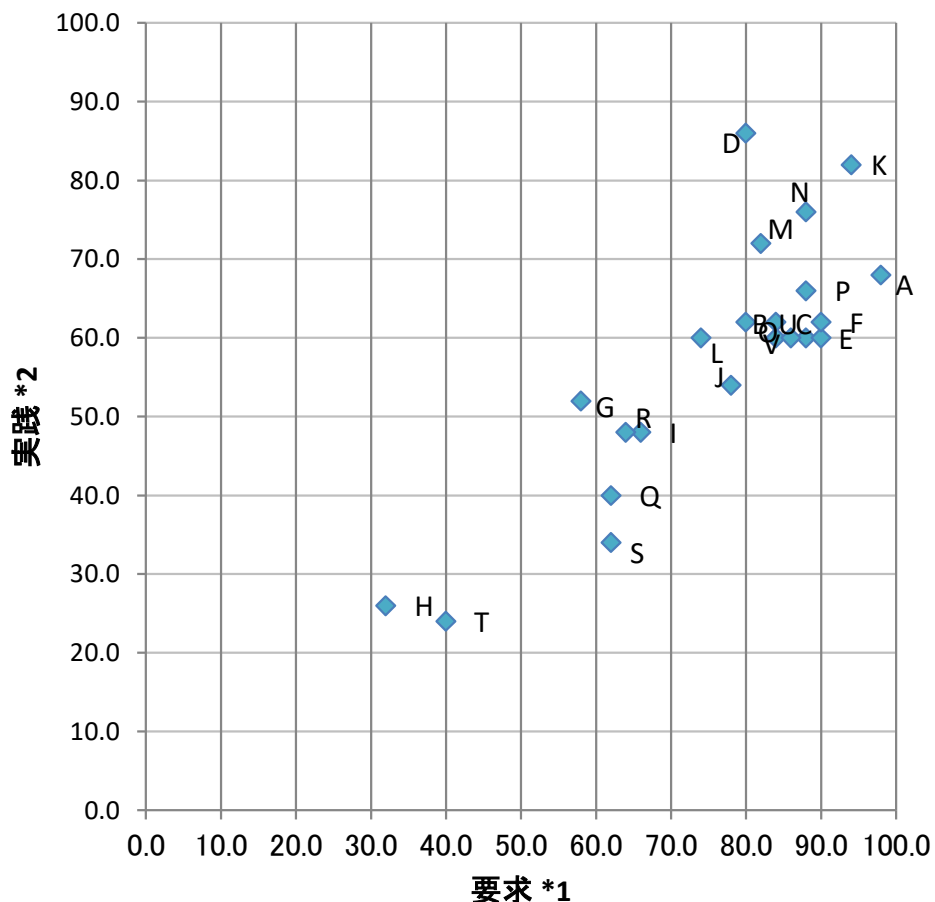
	n %	後輩や部下等に指導できる	一人でできる	どちらともいえない	上司や先輩からの支援があればできる	できていない/分からない
1.人との関係を大切に、協調・協働して行動している	50 100.0	11 22.0	30 60.0	7 14.0	2 4.0	0 0.0
2.他者に方向性を示し、目標実現のために巻き込んでいる	50 100.0	8 16.0	22 44.0	16 32.0	3 6.0	1 2.0
3.やるべきことを定め、自らを律して、行動している	50 100.0	11 22.0	25 50.0	10 20.0	4 8.0	0 0.0
4.責任感・使命感をもって業務にあたっている	50 100.0	10 20.0	28 56.0	8 16.0	4 8.0	0 0.0
5.常に向上心をもって、学び続ける努力をしている	50 100.0	8 16.0	23 46.0	17 34.0	1 2.0	2 2.0
6.よりよい成果を出すために、仕事の内容ややり方を創意・工夫している	50 100.0	8 16.0	25 50.0	11 22.0	6 12.0	0 0.0
7.アイデアを考え出し、積極的に企画している	50 100.0	5 10.0	15 30.0	18 36.0	8 16.0	4 8.0
8.仮説を立てて、その検証をすることで、仕事を進めている	50 100.0	7 14.0	17 34.0	17 34.0	8 16.0	1 2.0
9.社会やニーズの変化を察知し、物事を変革しようとしている	50 100.0	2 4.0	15 30.0	21 42.0	5 10.0	7 14.0
10.海外や異分野の情報や人材にふれようとしている	50 100.0	2 4.0	10 20.0	18 36.0	8 16.0	12 24.0
11.顧客や相手の話に耳を傾け、真意を理解しようとしている	50 100.0	6 12.0	24 48.0	12 24.0	7 14.0	1 2.0
12.物事を多面的に捉え、大局的に把握しようとしている	50 100.0	4 8.0	27 54.0	9 18.0	9 18.0	1 2.0



# 要求と実践（2018年卒業生）

- “2018卒業生”において、横軸に要求度（「とくに求められている」「それなりに求められている」の合算）、縦軸に実践度（「後輩や部下等に指導できる」「一人でできる」の合算）をプロット
- ※“2008年卒業生”はサンプル数が少数のため“2018年度卒業生”でのみ実施

要求度と実践度（2018年卒業生）



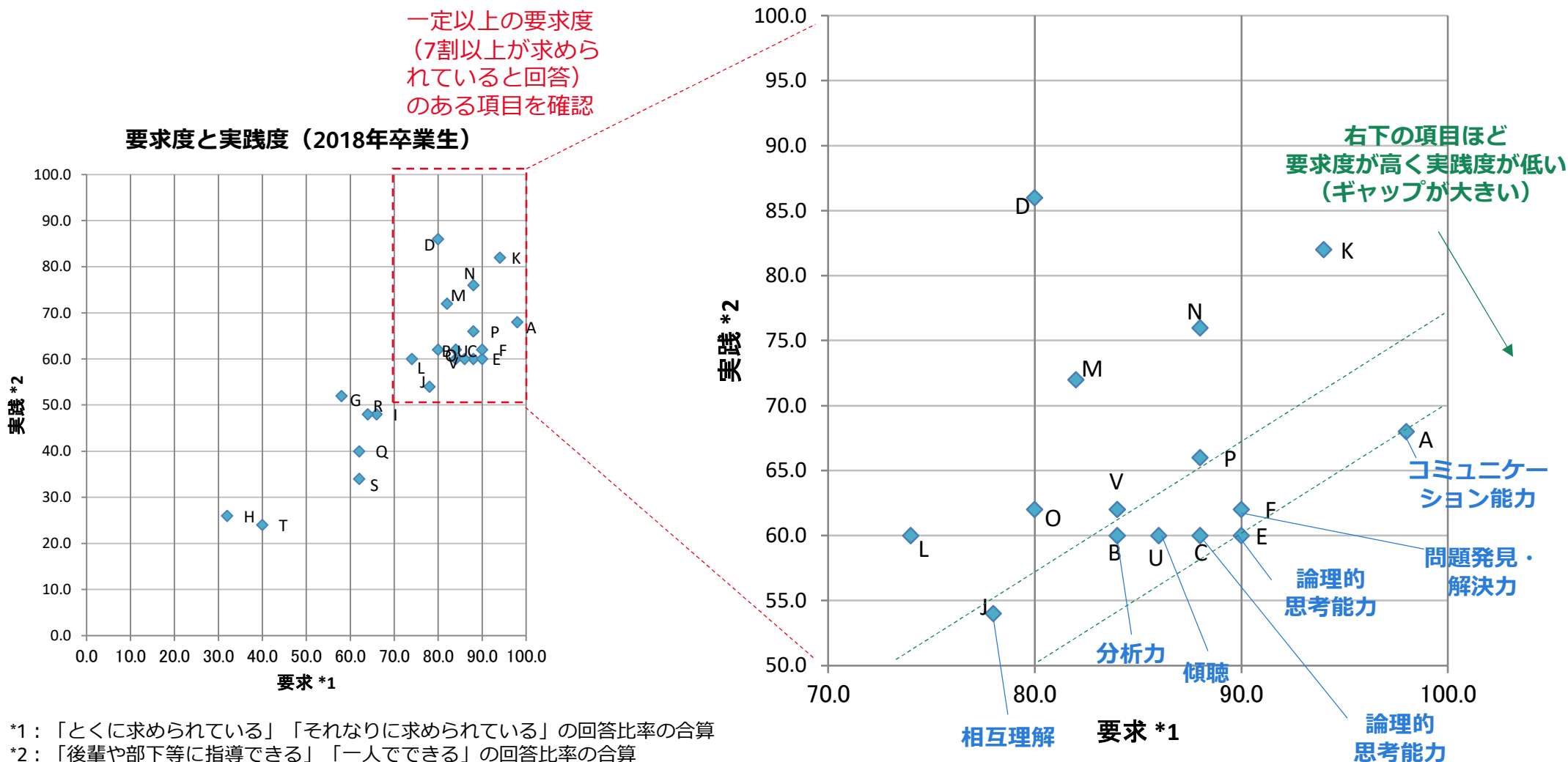
設問	ラベル	項目
仕事における能力	A	1.相手の立場を理解した上で、伝えたいことをわかりやすく伝えられる
	B	2.数字を使って、物事を分析、理解、表現できる
	C	3.多様な情報源から、必要な情報を収集・整理・活用できる
	D	4.業務用ソフト（ワープロ・表計算・プレゼンソフト）を有効に操作できる
	E	5.論理的に筋道を立てて考え、表現できる
	F	6.問題を発見し、その原因と解決策を考え、実際に行動できる
	G	7.短時間で資料や記事を読んで要点を把握できる
	H	8.英語の資料や記事を読んで要点を把握できる
	I	9.相手の関心を理解し、狙いを伝えるプレゼンテーションができる
	J	10.お互いの利害を理解し、双方が納得できる交渉ができる
仕事に対する姿勢	K	1.人との関係を大切にし、協調・協働して行動している
	L	2.他者に方向性を示し、目標実現のために巻き込んでいる
	M	3.やるべきことを定め、自らを律して、行動している
	N	4.責任感・使命感をもって業務にあたっている
	O	5.常に向上心をもって、学び続ける努力をしている
	P	6.よりよい成果を出すために、仕事の内容ややり方を創意・工夫している
	Q	7.アイデアを考え出し、積極的に企画している
	R	8.仮説を立てて、その検証をすることで、仕事を進めている
	S	9.社会やニーズの変化を察知し、物事を変革しようとしている
	T	10.海外や異分野の情報や人材にふれようとしている
U	11.顧客や相手の話に耳を傾け、真意を理解しようとしている	
V	12.物事を多面的に捉え、大局的に把握しようとしている	

\*1: 「とくに求められている」「それなりに求められている」の回答比率の合算

\*2: 「後輩や部下等に指導できる」「一人でできる」の回答比率の合算

# 要求と実践 (2018年卒業生)

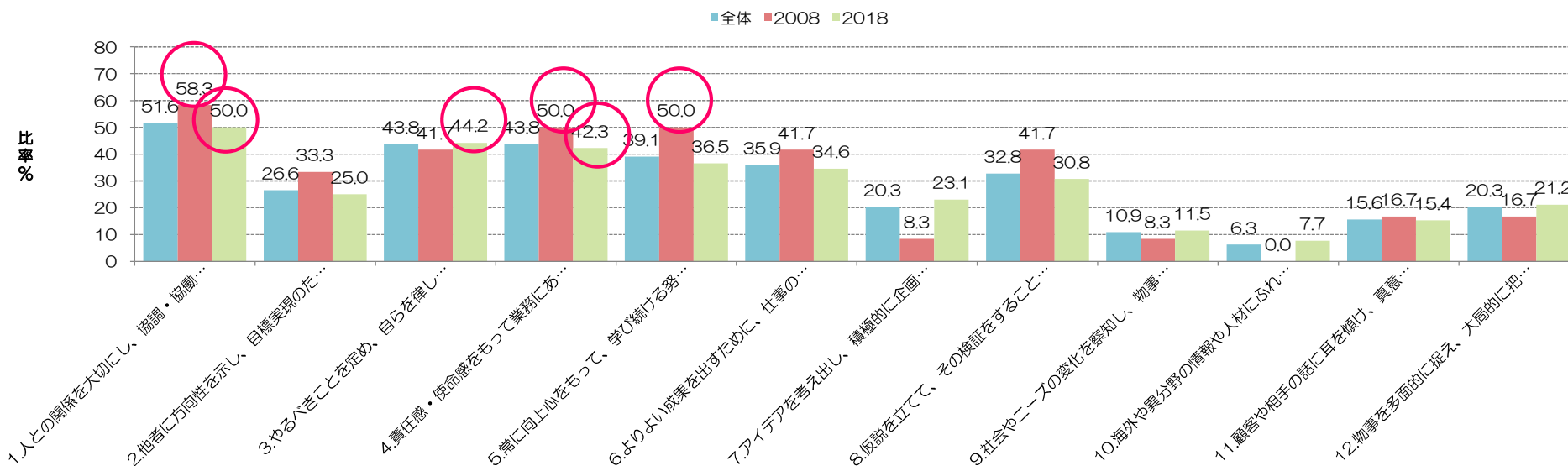
- 要求と実践でギャップが大きいものは、仕事における能力においては「コミュニケーション能力」「問題発見・解決力」「論理的思考能力」「分析力」などで、仕事に対する姿勢としては「傾聴」や「相互理解」



# 大学の経験が活かしているもの (Q17)

- 「仕事に臨む姿勢」に対して、特に大学の経験が活かしていると感じているものは、  
 「2008年卒業生」では「協調性 (1)」「責任感・使命感 (4)」「向上心 (5)」、  
 「2018年卒業生」では「協調性 (1)」「自律性 (3)」「責任感・使命感 (4)」

Q17.以下の項目について、大学時代の授業・研究・ゼミ等の経験が活かしていると感じるものを教えてください。(あてはまるもの全てをお選びください)

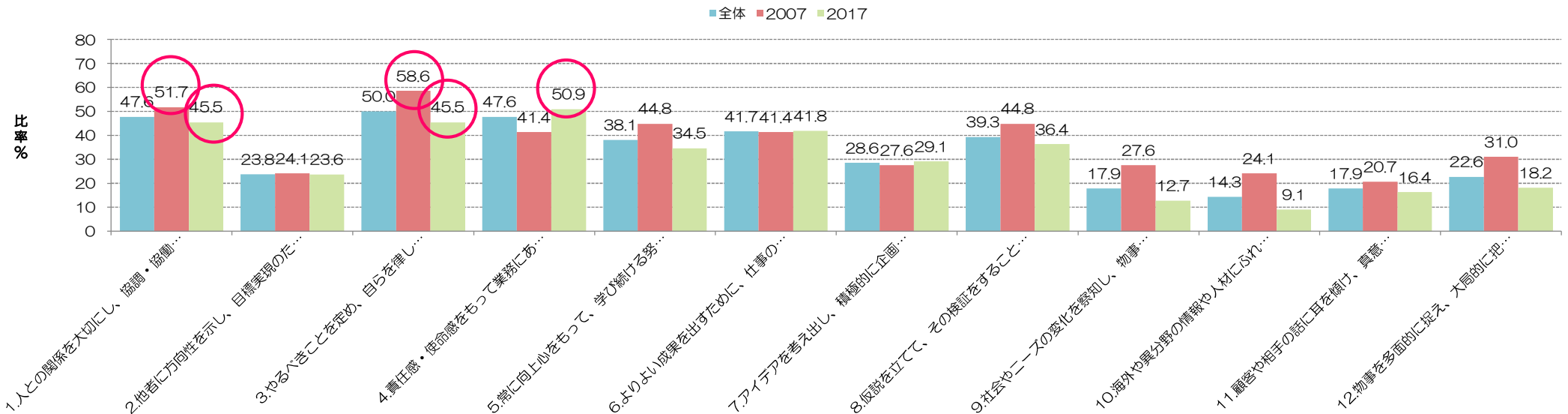


		n	1.人との関係を大切にし、協調・協働して行動している	2.他者に方向性を示し、目標実現のために巻き込んでいる	3.やるべきことを定め、自らを律して、行動している	4.責任感・使命感をもって業務にあたっている	5.常に向上心をもって、学び続ける努力をしている	6.よりよい成果を出すために、仕事の内容ややり方を創意・工夫している	7.アイデアを考え出し、積極的に企画している	8.仮説を立てて、その検証をすることで、仕事を進めている	9.社会やニーズの変化を察知し、物事を変革しようとしている	10.海外や異分野の情報や人材にふれようとしている	11.顧客や相手の話に耳を傾け、真意を理解しようとしている	12.物事を多面的に捉え、大局的に把握しようとしている	
全体	n	64	33	17	28	28	25	23	13	21	7	4	10	13	
	%	100.0	51.6	26.6	43.8	43.8	39.1	35.9	20.3	32.8	10.9	6.3	15.6	20.3	
卒業年	2008	n	12	7	4	5	6	6	5	1	5	1	0	2	2
		%	100.0	58.3	33.3	41.7	50.0	50.0	41.7	8.3	41.7	8.3	0.0	16.7	16.7
	2018	n	52	26	13	23	22	19	18	12	16	6	4	8	11
		%	100.0	50.0	25.0	44.2	42.3	36.5	34.6	23.1	30.8	11.5	7.7	15.4	21.2

# 【参考：前回調査結果】大学の経験が活かしているもの（Q17）

- 「仕事に臨む姿勢」に対して、特に大学の経験が活かしていると感じているものは、「2007年卒業生」では「自律性（3）」や「協調性（1）」、「2017年卒業生」では「責任感・使命感（4）」や「協調性（1）」「自律性（3）」など

Q17.以下の項目について、大学時代の授業・研究・ゼミ等の経験が活かしていると感じるものを教えてください。（あてはまるもの全てをお選びください）



	n	項目											
		1.人との関係を大切に、協調・協働して行動している	2.他者に方向性を示し、目標実現のために巻き込んでいる	3.やるべきことを定め、自らを律して、行動している	4.責任感・使命感をもって業務にあたっている	5.常に向上心をもって、学び続ける努力をしている	6.よりよい成果を出すために、仕事の内容ややり方を創意・工夫している	7.アイデアを考え出し、積極的に企画している	8.仮説を立てて、その検証をすることで、仕事を進めている	9.社会やニーズの変化を察知し、物事を変革しようとしている	10.海外や異分野の情報や人材にふれようとしている	11.顧客や相手の話に耳を傾け、真意を理解しようとしている	12.物事を多面的に捉え、大局的に把握しようとしている
全体	84	40	20	42	40	32	35	24	33	15	12	15	19
	100.0	47.6	23.8	50.0	47.6	38.1	41.7	28.6	39.3	17.9	14.3	17.9	22.6
卒業年	2007	29	7	17	12	13	12	8	13	8	7	6	9
	100.0	51.7	24.1	58.6	41.4	44.8	41.4	27.6	44.8	27.6	24.1	20.7	31.0
2017	55	25	13	25	28	19	23	16	20	7	5	9	10
	100.0	45.5	23.6	45.5	50.9	34.5	41.8	29.1	36.4	12.7	9.1	16.4	18.2

# 自己啓発の時間 (Q18)

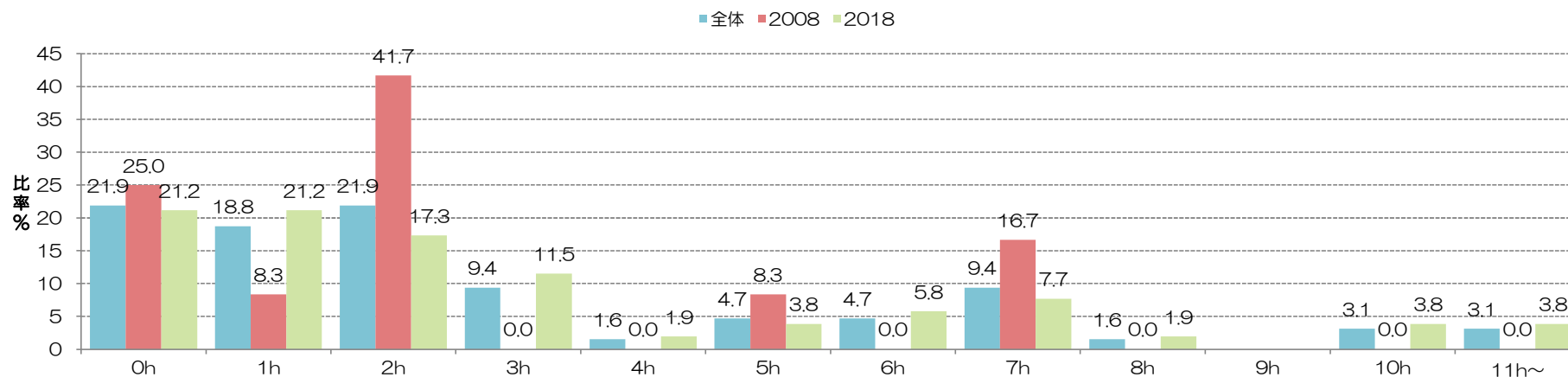
- おおまかに平均すると、“2008年卒業生”が約2.5時間、“2018年卒業生”が約3.0時間で、やや“2018年卒業生の方が高い
- 直近の卒業生である“2018年卒業生”は昨年1.8時間から増加（ただしー昨年と比べると同じ程度）

Q18.あなたは、自己啓発のために1週間にどのくらいの時間をあてていますか。

【参考】「11h～」を11hとした場合の平均の時間

・ 2008年卒業生：2.5h（昨年度は2.6h）

・ 2018年卒業生：3.0h（昨年度は1.8h）



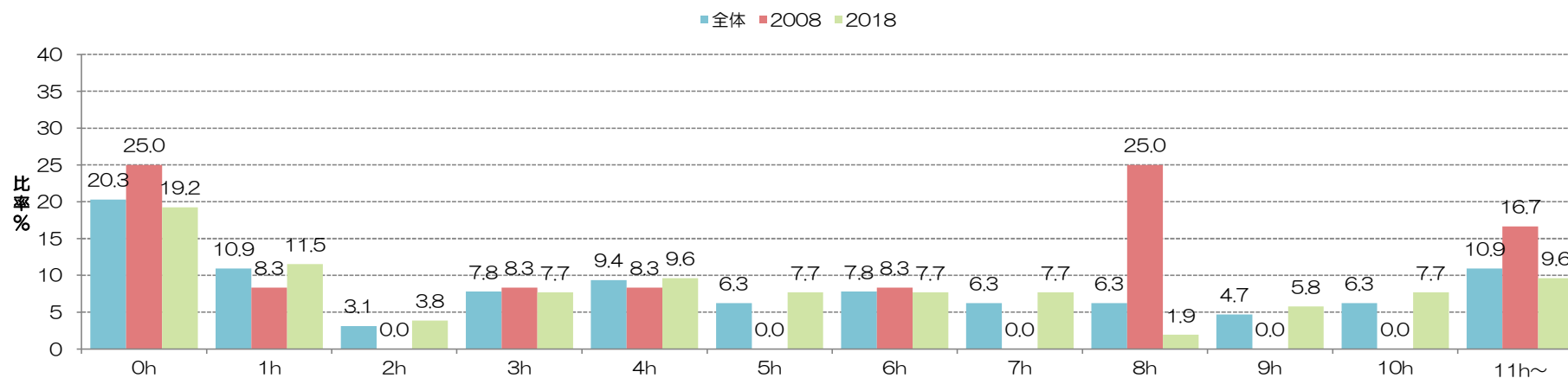
		n %	0h	1h	2h	3h	4h	5h	6h	7h	8h	9h	10h	11h～	
全体		64	14	12	14	6	1	3	3	6	1	0	2	2	
		100.0	21.9	18.8	21.9	9.4	1.6	4.7	4.7	9.4	1.6	0.0	3.1	3.1	
卒業年	2008		12	3	1	5	0	0	1	0	2	0	0	0	
			100.0	25.0	8.3	41.7	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	2018		52	11	11	9	6	1	2	3	4	1	0	2	2
			100.0	21.2	21.2	17.3	11.5	1.9	3.8	5.8	7.7	1.9	0.0	3.8	3.8

# 大学時代の勉強時間 (Q26)

- 平均すると、“2008年卒業生”が約5.0時間、“2018年卒業生”が約4.7時間で、若干“2008年卒業生の方が高い
- 卒業後5年目の“2018年卒業生”は昨年3.4時間からやや増加

Q26.あなたは大学在籍中、授業時間以外では1週間におおよそどの位の勉強をしていましたか。  
(但し、試験期間と長期休暇を除く)

【参考】「11h～」を11hとした場合の平均の時間  
 ・2007年卒業生：5.0h（昨年度は4.3h）  
 ・2017年卒業生：4.7h（昨年度は3.4h）



		n %	0h	1h	2h	3h	4h	5h	6h	7h	8h	9h	10h	11h~
全体		64	13	7	2	5	6	4	5	4	4	3	4	7
		100.0	20.3	10.9	3.1	7.8	9.4	6.3	7.8	6.3	6.3	4.7	6.3	10.9
卒業年	2008	12	3	1	0	1	1	0	1	0	3	0	0	2
		100.0	25.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	16.7
卒業年	2018	52	10	6	2	4	5	4	4	4	1	3	4	5
		100.0	19.2	11.5	3.8	7.7	9.6	7.7	7.7	7.7	1.9	5.8	7.7	9.6

# 海外業務経験（Q19） / 自国および海外への理解（Q20）

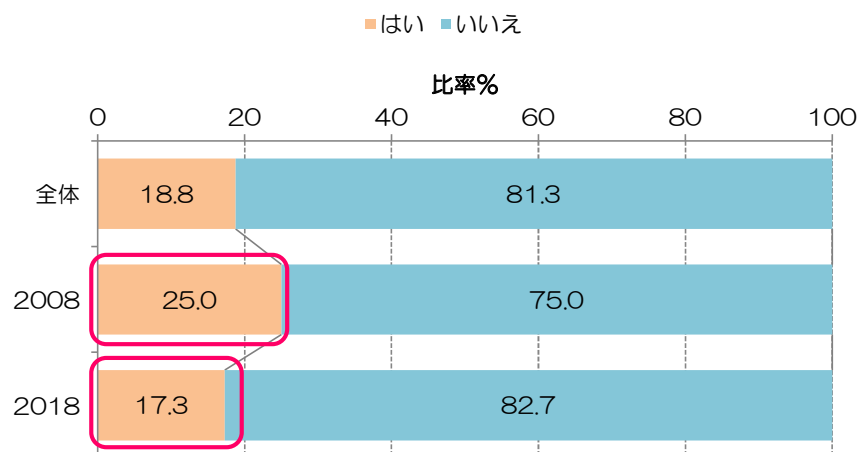
## ●海外での業務経験（Q19）

- “全体”で約18.8%の方が、海外での業務経験がある
- “2008年卒業生”の方が海外業務経験ありの割合が高く25.0%だが、“2018年卒業生”も17.3%存在（昨年9.1%よりも多い）

## ●自国および海外への理解（Q20）

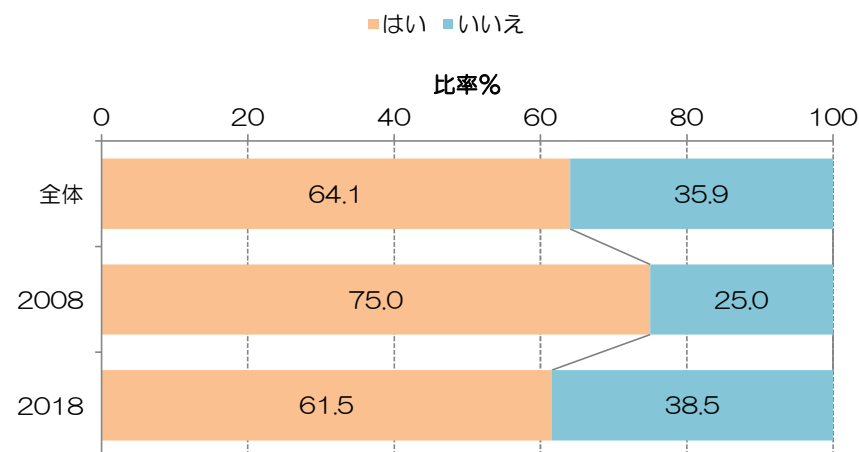
- 理解を示している（「はい」）人は全体で64.1%で、“2008年卒業生”の方がやや多い

Q19.あなたは海外で仕事をした経験はありますか。



		n %	はい	いいえ
全体		64	12	52
		100.0	18.8	81.3
卒業年	2008		12	9
			100.0	25.0
	2018		52	43
			100.0	17.3

Q20.あなたは自国（日本）の文化や歴史、日本人のアイデンティティを理解すると共に、他国の文化に対して理解を示していると思いますか。



		n %	はい	いいえ
全体		64	41	23
		100.0	64.1	35.9
卒業年	2008		12	3
			100.0	75.0
	2018		52	20
			100.0	61.5

# 海外業務の有益性（Q21） / 海外業務の意向（Q22）

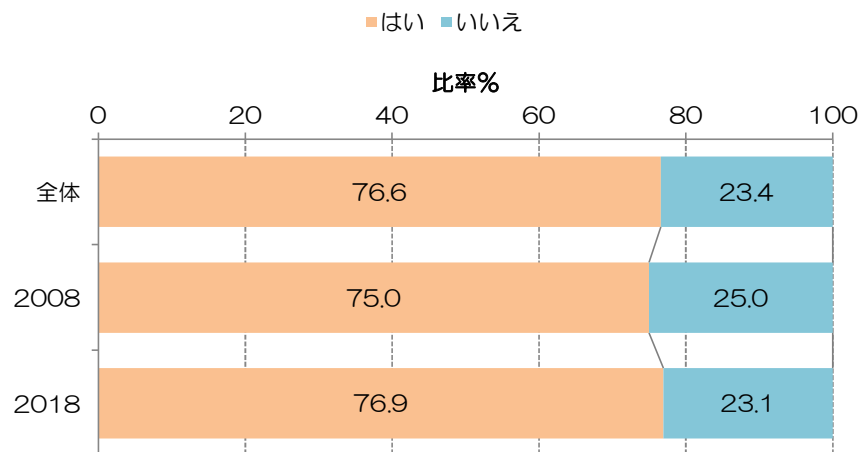
## ●海外業務の有益性（Q21）

- 全体で7割強の方が海外業務は有益であると回答（例年通り）

## ●海外での業務意向（Q22）

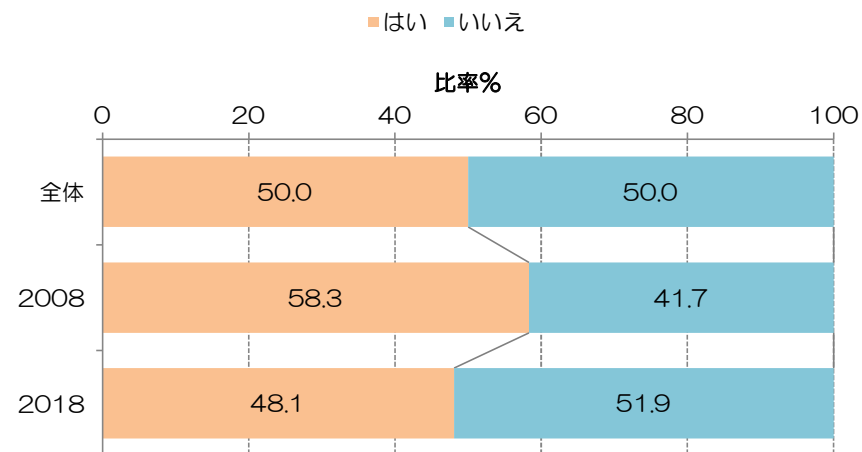
- 実際に海外で働いてみたいと思っている方は“2008年卒業生”で58.3%（昨年37.9%、一昨年44.4%）、“2018年卒業生”では48.1%（昨年52.7%、一昨年51.7%で例年から大きくは変わらない）

Q21.あなたは海外で一定期間（1年以上）働くことについて（益・正月等の帰国あり）、今後の自分にとって有益だと思いますか。



		n %	はい	いいえ
全体		64	49	15
		100.0	76.6	23.4
卒業年	2008	12	9	3
		100.0	75.0	25.0
2018		52	40	12
		100.0	76.9	23.1

Q22.あなたは実際に海外で一定期間働いてみたいですか。



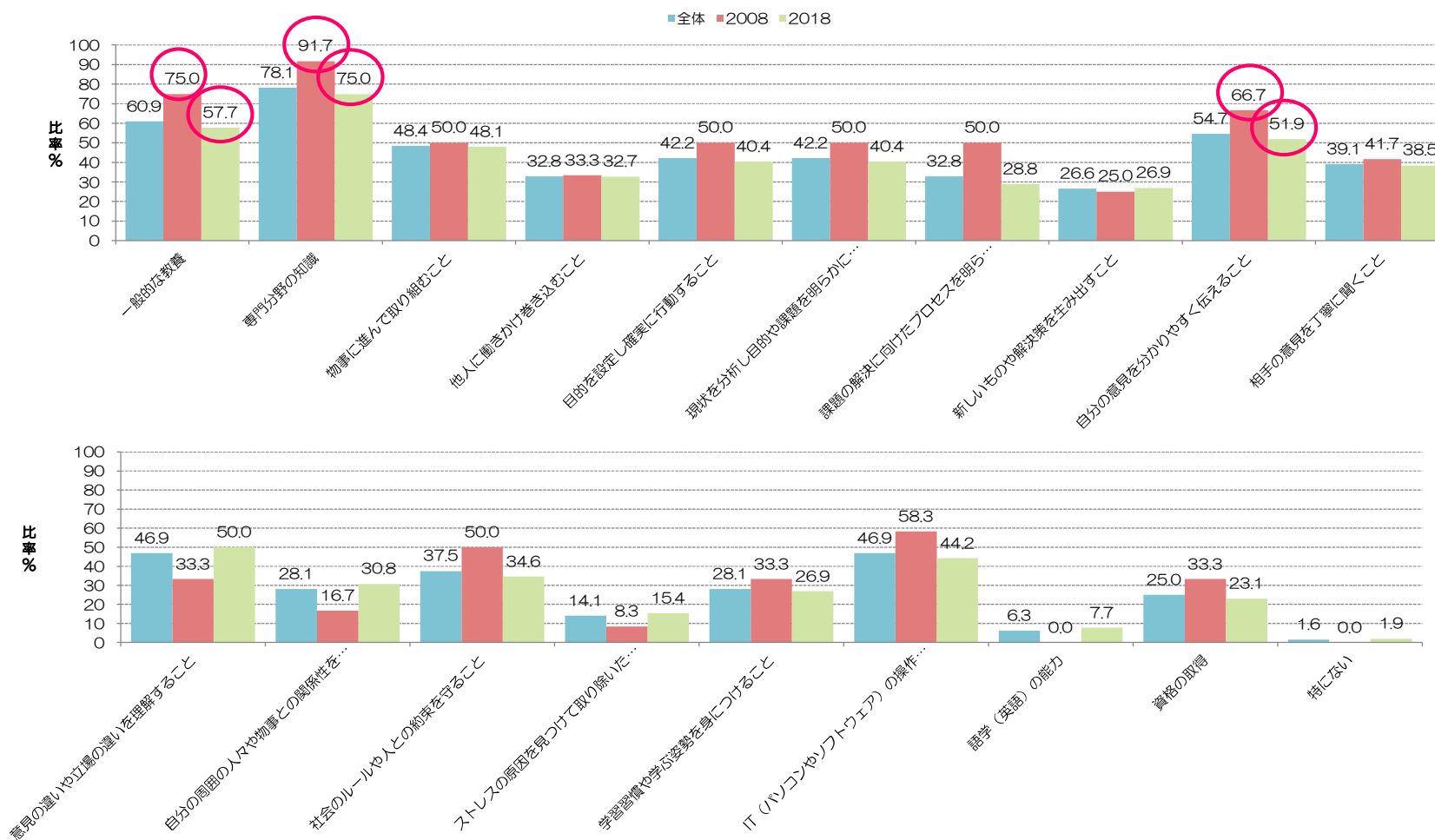
		n %	はい	いいえ
全体		64	32	32
		100.0	50.0	50.0
卒業年	2008	12	7	5
		100.0	58.3	41.7
2018		52	25	27
		100.0	48.1	51.9



# 大学時代に努力したこと (Q23)

- 努力したこととしての回答が多い項目は各卒業年共通で、「専門分野の知識」「一般的な教養」「自分の意見を分かりやすく伝えること」

Q23.あなたは、大学在籍時代に、以下の知識や能力を身につける努力をしましたか。  
(自ら努力したと思えるもの全てをお選びください)



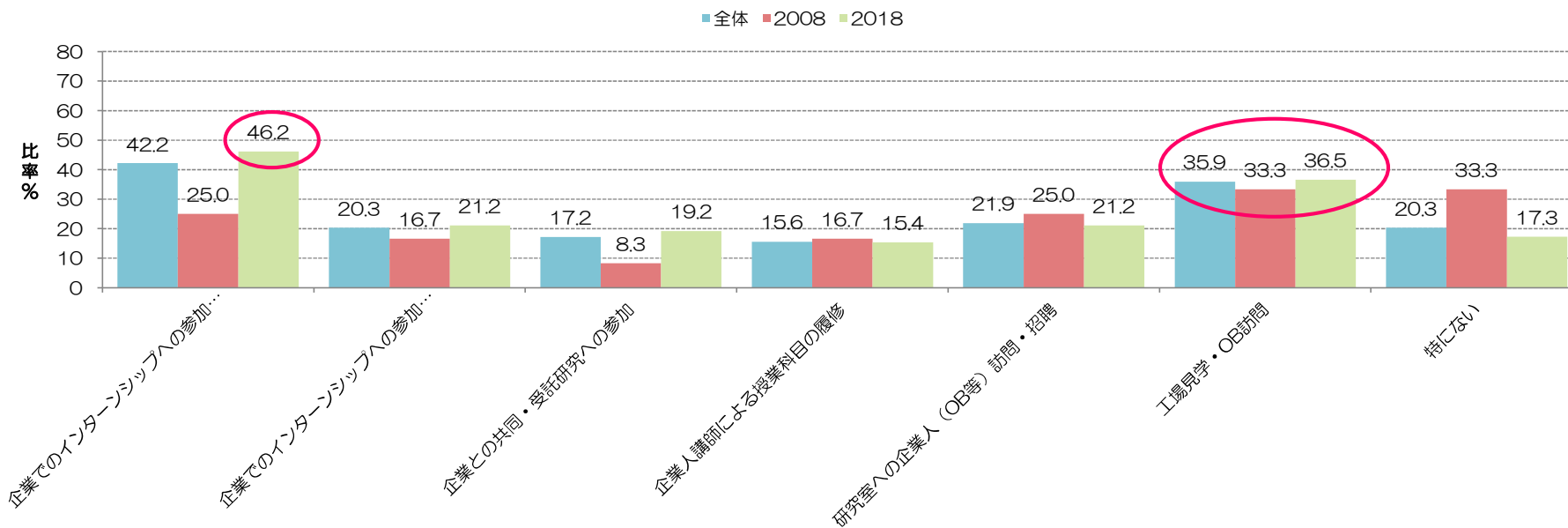
		n %	一般的な教養	専門分野の知識	物事に進んで取り組むこと	他人に働きかけ巻き込むこと	目的を設定し確実に行動すること	現状を分析し目的や課題を明らかにすること	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備すること	新しいものや解決策を生み出すこと	自分の意見を分かりやすく伝えること	相手の意見を丁寧に聞くこと
全体		64	39	50	31	21	27	27	21	17	35	25
		129.0	60.9	78.1	48.4	32.8	42.2	42.2	32.8	26.6	54.7	39.1
卒業年	2008	12	9	11	6	4	6	6	6	3	8	5
		100.0	75.0	91.7	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0	25.0	66.7	41.7
	2018	52	30	39	25	17	21	21	15	14	27	20
		100.0	57.7	75.0	48.1	32.7	40.4	40.4	28.8	26.9	51.9	38.5

		n %	意見の違いや立場の違いを理解すること	自分の周囲の人々や物事との関係性を理解すること	社会のルールや人との約束を守ること	ストレスの原因を見つけて取り除いたり、緩和したりすること	学習習慣や学ぶ姿勢を身につけること	IT（パソコンやソフトウェア）の操作能力	語学（英語）の能力	資格の取得	特になし
全体		64	30	18	24	9	18	30	4	16	1
		100.0	46.9	28.1	37.5	14.1	28.1	46.9	6.3	25.0	1.6
卒業年	2008	12	4	2	6	1	4	7	0	4	0
		100.0	33.3	16.7	50.0	8.3	33.3	58.3	0.0	33.3	0.0
	2018	52	26	16	18	8	14	23	4	12	1
		100.0	50.0	30.8	34.6	15.4	26.9	44.2	7.7	23.1	1.9

# 大学時代の社会や産業界との関わり (Q24)

- “2018年卒業生”では「インターシップ (10日以下)」が最も多く46.2%、次いで「工場見学・OB訪問」が多く36.5%

Q24.あなたは大学在籍中に、社会や産業界と接触する経験はありましたか。(経験したことがあるものを全てお選びください)

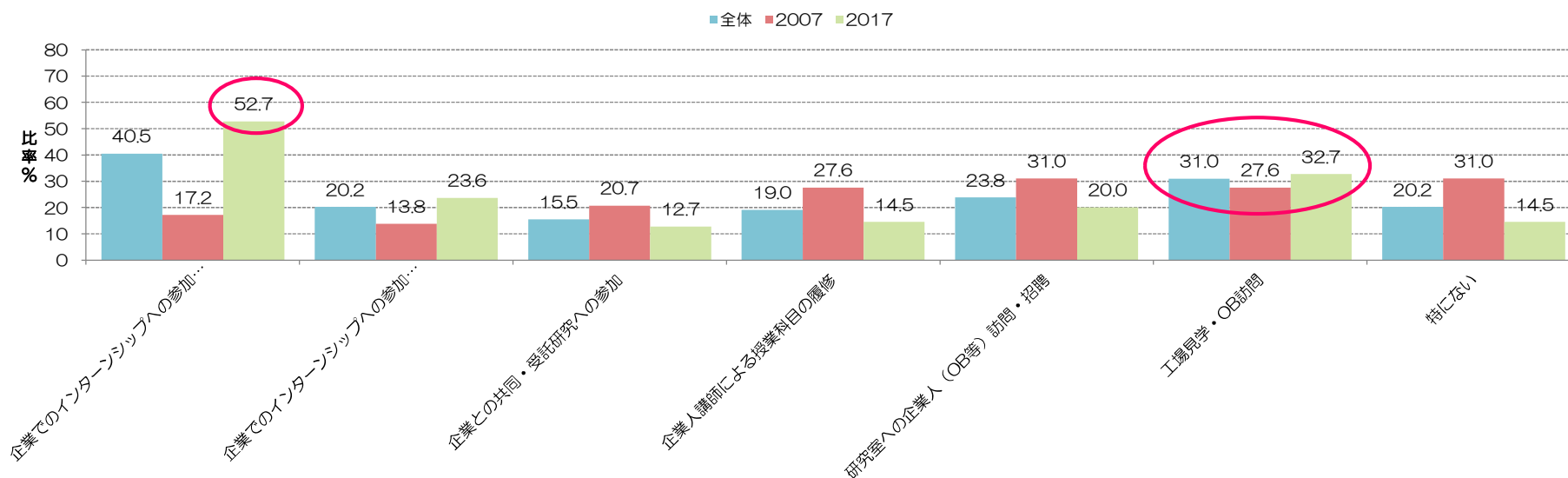


		n	企業でのインターシップへの参加 (10日以下)	企業でのインターシップへの参加 (11日以上)	企業との共同・受託研究への参加	企業人講師による授業科目の履修	研究室への企業人 (OB等) 訪問・招聘	工場見学・OB訪問	特になし
全体		64	27	13	11	10	14	23	13
		100.0	42.2	20.3	17.2	15.6	21.9	35.9	20.3
卒業年	2008	12	3	2	1	2	3	4	4
		100.0	25.0	16.7	8.3	16.7	25.0	33.3	33.3
2018		52	24	11	10	8	11	19	9
		100.0	46.2	21.2	19.2	15.4	21.2	36.5	17.3

# 【参考：前回調査結果】 大学時代の社会や産業界との関わり（Q24）

- 「工場見学・OB訪問」は経験として比較的高めではあるが、いずれの卒業年も昨年調査時点よりも経験ありの比率が減少（前回調査時点では“2006年卒業生”で47.2%、“2016年卒業生”で48.3%）
- 卒業後5年目の卒業生（今回は2017年卒業生）では、インターシップ（10日以下）への参加が特に高く、昨年の43.7%よりも増加している ※11日以上のインターシップも微増

Q24.あなたは大学在籍中に、社会や産業界と接触する経験はありましたか。（経験したことがあるものを全てお選びください）



		n %	企業でのインターンシップへの参加（10日以下）	企業でのインターンシップへの参加（11日以上）	企業との共同・受託研究への参加	企業人講師による授業科目の履修	研究室への企業人（OB等）訪問・招聘	工場見学・OB訪問	特になし	
全体		84	34	17	13	16	20	26	17	
		100.0	40.5	20.2	15.5	19.0	23.8	31.0	20.2	
卒業年	2007		5	4	6	8	9	8	9	
			100.0	17.2	13.8	20.7	27.6	31.0	27.6	31.0
	2017		55	29	13	7	8	11	18	8
			100.0	52.7	23.6	12.7	14.5	20.0	32.7	14.5

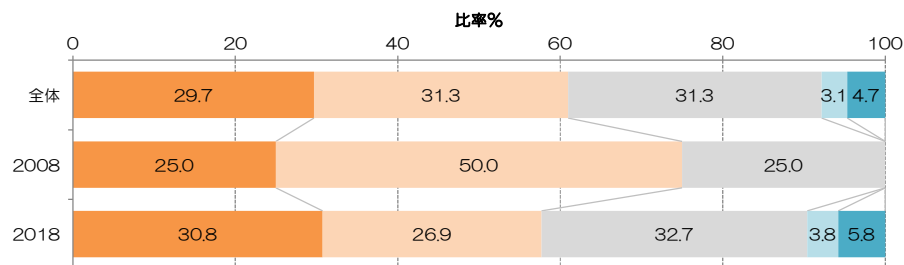
# 大学時代の成績（Q25）

- 科目の中では、語学系科目よりも、専門科目や教養科目の成績が良かったと思う卒業生が多い
- 専門科目および教養科目においては、“2008年卒業生”の方が成績が良かったと認識されている人が多い

Q25.あなたの大学在籍中の成績は、どの程度だったと思いますか。（以下の各項目について最もあてはまるものをお選びください）

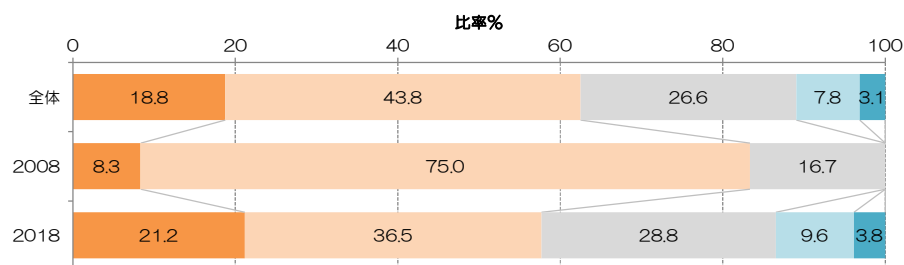
■成績は平均よりもかなり上 ■成績は平均よりもやや上 ■成績はほぼ平均程度  
■成績は平均よりもやや下 ■成績は平均よりもかなり下

専  
門  
科  
目



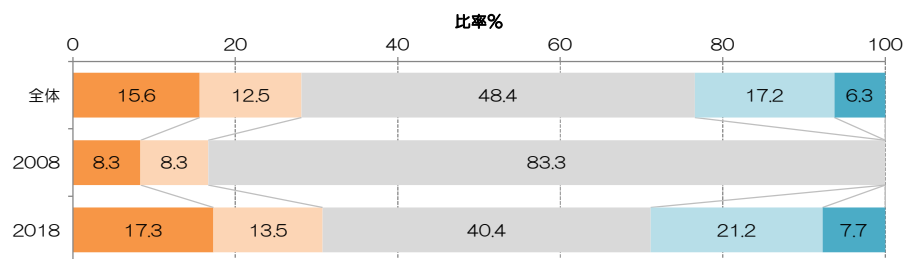
		n %	成績は平均よりもかなり上	成績は平均よりもやや上	成績はほぼ平均程度	成績は平均よりもやや下	成績は平均よりもかなり下	
全体		64	19	20	20	2	3	
		100.0	29.7	31.3	31.3	3.1	4.7	
卒業年	2008		12	3	6	3	0	0
			100.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	2018		52	16	14	17	2	3
			100.0	30.8	26.9	32.7	3.8	5.8

教  
養  
科  
目



		n %	成績は平均よりもかなり上	成績は平均よりもやや上	成績はほぼ平均程度	成績は平均よりもやや下	成績は平均よりもかなり下	
全体		64	12	28	17	5	2	
		100.0	18.8	43.8	26.6	7.8	3.1	
卒業年	2008		12	1	9	2	0	0
			100.0	8.3	75.0	16.7	0.0	0.0
	2018		52	11	19	15	5	2
			100.0	21.2	36.5	28.8	9.6	3.8

語  
学  
系  
科  
目



		n %	成績は平均よりもかなり上	成績は平均よりもやや上	成績はほぼ平均程度	成績は平均よりもやや下	成績は平均よりもかなり下	
全体		64	10	8	31	11	4	
		100.0	15.6	12.5	48.4	17.2	6.3	
卒業年	2008		12	1	10	0	0	
			100.0	8.3	8.3	83.3	0.0	0.0
	2018		52	9	7	21	11	4
			100.0	17.3	13.5	40.4	21.2	7.7

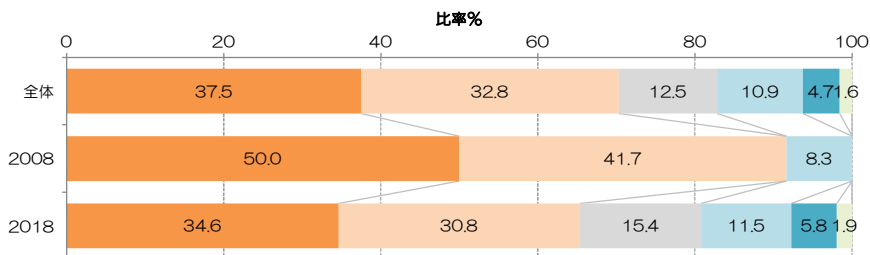
# 学んだことや経験の役立ち度 (Q27)

- ・特に役立っていると感じている経験は例年同様で「ゼミ」「大学の専門科目」「アルバイト」など
- ・“経験なし・該当なし”も含めて役立ち度が低めなのは、「ボランティア・社会貢献活動」「海外留学」「語学」など

Q27.大学時代に学んだことや経験は、現在の生活にどの程度役に立っていると感じますか。(以下の各項目について、選択肢の中から最もあてはまる数字をお選びください)

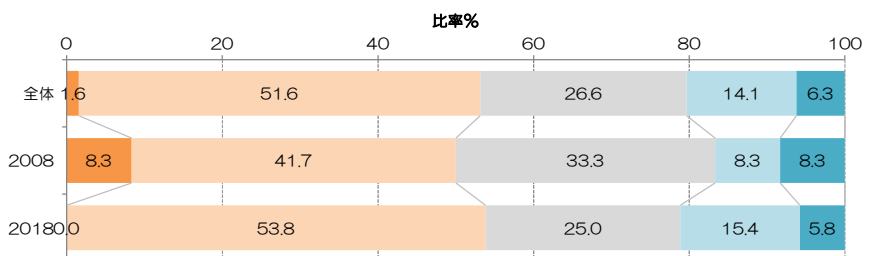
■非常に役に立っている ■役に立っている ■どちらともいえない  
■あまり役に立っていない ■全く役に立っていない ■経験なし・該当なし

大学の  
専門科目



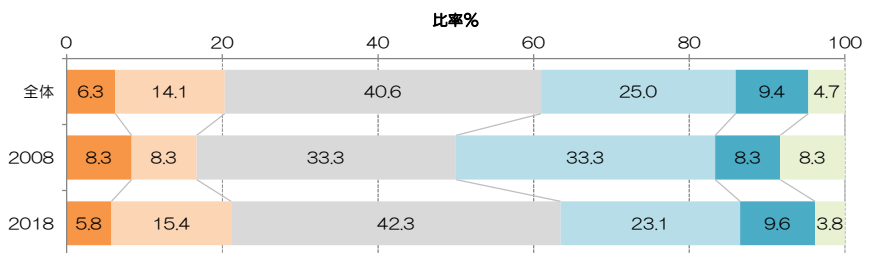
		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし	
全体		64	24	21	8	7	3	1	
		100.0	37.5	32.8	12.5	10.9	4.7	1.6	
卒業年	2008		12	6	5	0	1	0	
			100.0	50.0	41.7	0.0	8.3	0.0	0.0
	2018		52	18	16	8	6	3	1
			100.0	34.6	30.8	15.4	11.5	5.8	1.9

大学の  
一般教養



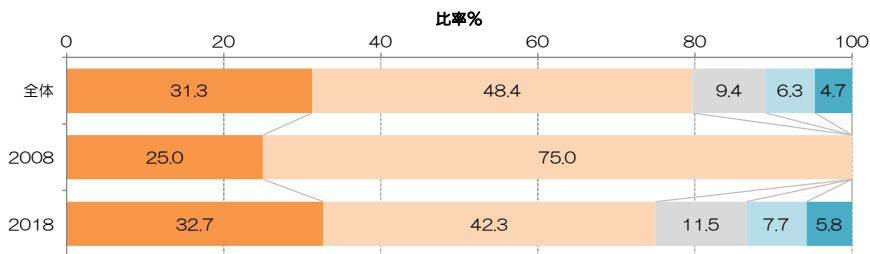
		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし	
全体		64	1	33	17	9	4	0	
		100.0	1.6	51.6	26.6	14.1	6.3	0.0	
卒業年	2008		12	1	5	4	1	0	
			100.0	8.3	41.7	33.3	8.3	8.3	0.0
	2018		52	0	28	13	8	3	0
			100.0	0.0	53.8	25.0	15.4	5.8	0.0

語学



		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし	
全体		64	4	9	26	16	6	3	
		100.0	6.3	14.1	40.6	25.0	9.4	4.7	
卒業年	2008		12	1	4	4	1	1	
			100.0	8.3	8.3	33.3	33.3	8.3	8.3
	2018		52	3	8	22	12	5	2
			100.0	5.8	15.4	42.3	23.1	9.6	3.8

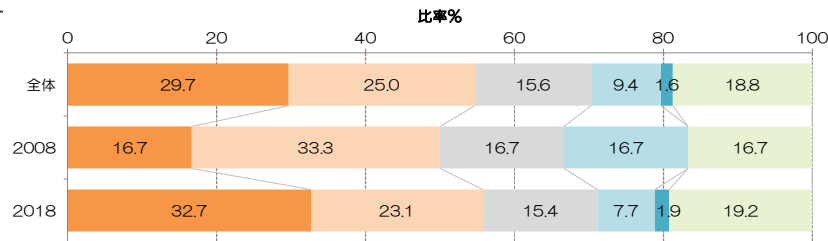
ゼミ



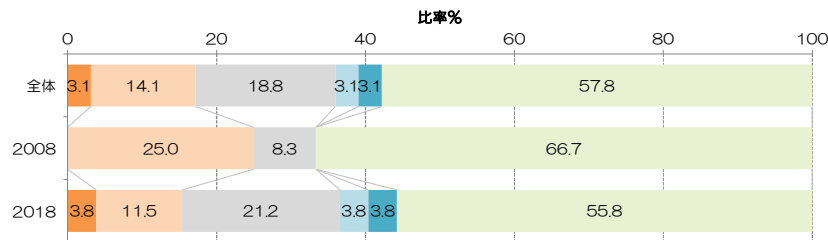
		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし	
全体		64	20	31	6	4	3	0	
		100.0	31.3	48.4	9.4	6.3	4.7	0.0	
卒業年	2008		12	3	9	0	0	0	
			100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2018		52	17	22	6	4	3	0
			100.0	32.7	42.3	11.5	7.7	5.8	0.0

■非常に役に立っている ■役に立っている ■どちらともいえない  
 ■あまり役に立っていない ■全く役に立っていない ■経験なし・該当なし

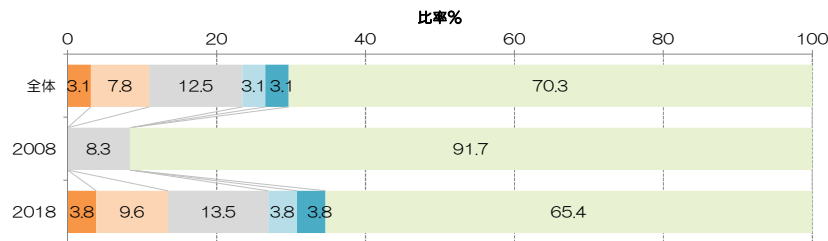
部活動・  
サークル活動



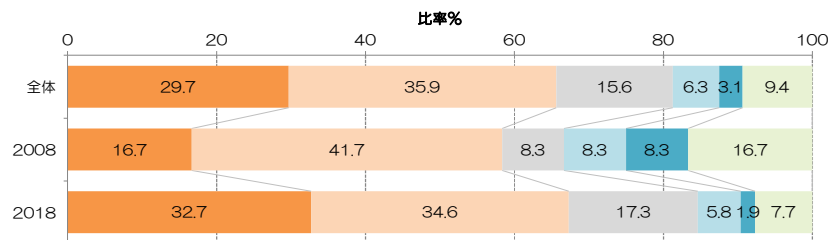
ボランティア・  
社会貢献活動



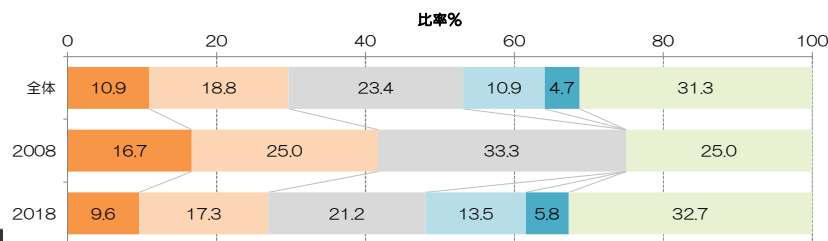
海外留学



アルバイト



資格の取得



		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし
全体	n	64	19	16	10	6	1	12
	%	100.0	29.7	25.0	15.6	9.4	1.6	18.8
卒業年	2008	12	2	4	2	2	0	2
	2018	52	17	12	8	4	1	10
		100.0	32.7	23.1	15.4	7.7	1.9	19.2

		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし
全体	n	64	2	9	12	2	2	37
	%	100.0	3.1	14.1	18.8	3.1	3.1	57.8
卒業年	2008	12	0	3	1	0	0	8
	2018	52	2	6	11	2	2	29
		100.0	3.8	11.5	21.2	3.8	3.8	55.8

		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし
全体	n	64	2	5	8	2	2	45
	%	100.0	3.1	7.8	12.5	3.1	3.1	70.3
卒業年	2008	12	0	0	1	0	0	11
	2018	52	2	5	7	2	2	34
		100.0	3.8	9.6	13.5	3.8	3.8	65.4

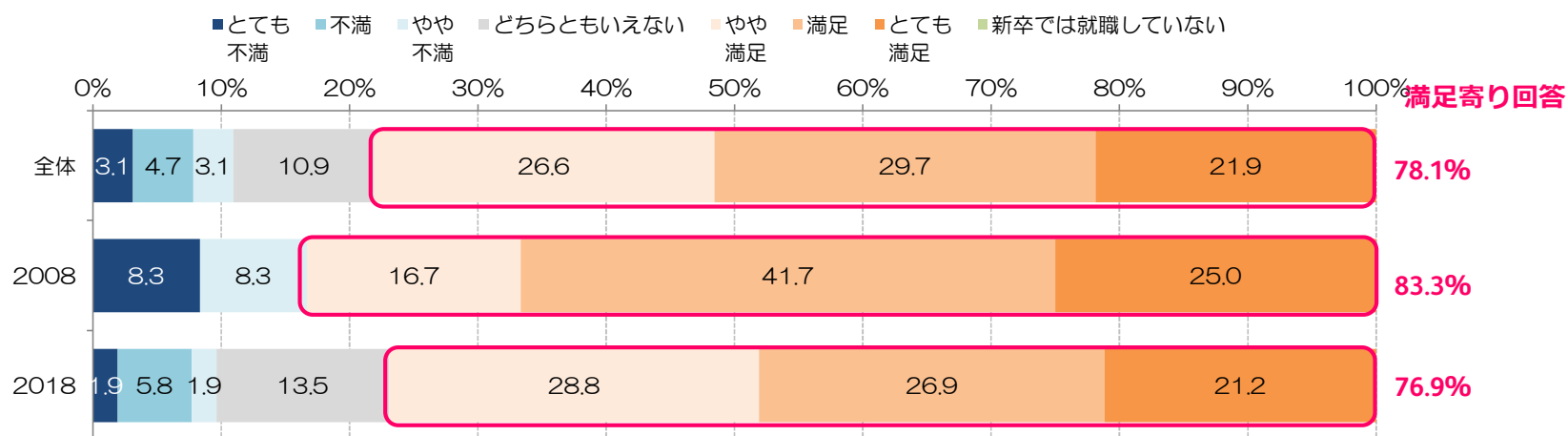
		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし
全体	n	64	19	23	10	4	2	6
	%	100.0	29.7	35.9	15.6	6.3	3.1	9.4
卒業年	2008	12	2	5	1	1	1	2
	2018	52	17	18	9	3	1	4
		100.0	32.7	34.6	17.3	5.8	1.9	7.7

		n %	非常に役に立っている	役に立っている	どちらともいえない	あまり役に立っていない	全く役に立っていない	経験なし・該当なし
全体	n	64	7	12	15	7	3	20
	%	100.0	10.9	18.8	23.4	10.9	4.7	31.3
卒業年	2008	12	2	3	4	0	0	3
	2018	52	5	9	11	7	3	17
		100.0	9.6	17.3	21.2	13.5	5.8	32.7

# 卒業時の就職先への満足度（Q28）

- 満足寄りの回答は各卒業年で8割前後
- 卒業後5年目の“2018年卒業生”では満足寄り回答は76.9%で、昨年からやや減少（昨年83.6%）  
※前述の現在の仕事と進路希望の合致度、学んだ専門と業務内容の合致度の低下も影響の可能性あり

Q28.卒業時の就職先への満足度はどの程度ですか。（最もあてはまるものをお選びください）



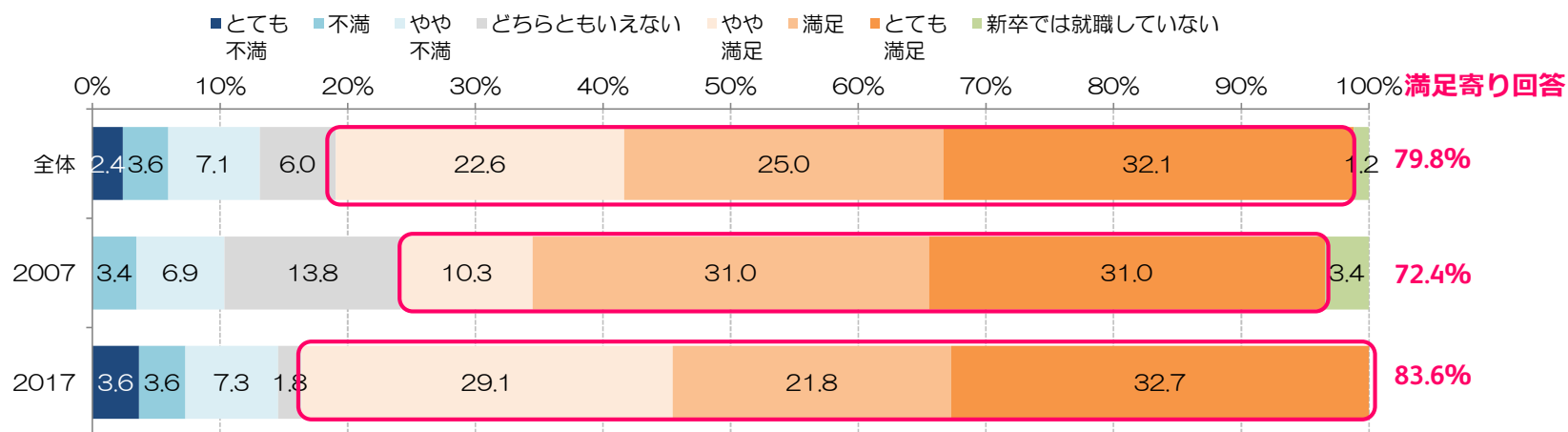
		n	とても不満	不満	やや不満	どちらともいえない	やや満足	満足	とても満足	新卒では就職していない
全体		64	2	3	2	7	17	19	14	0
		100.0	3.1	4.7	3.1	10.9	26.6	29.7	21.9	0.0
卒業年	2008		12	0	1	0	2	5	3	0
			100.0	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	41.7	25.0
	2018		52	3	1	7	15	14	11	0
			100.0	1.9	5.8	1.9	13.5	28.8	26.9	21.2



# 【参考：前回調査結果】卒業時の就職先への満足度（Q28）

- 満足寄り回答は全体で8割弱
- 卒業後5年目の方（2017年卒業生）では、昨年から満足寄り回答が増加（昨年74.7%）

Q28.卒業時の就職先への満足度はどの程度ですか。（最もあてはまるものをお選びください）

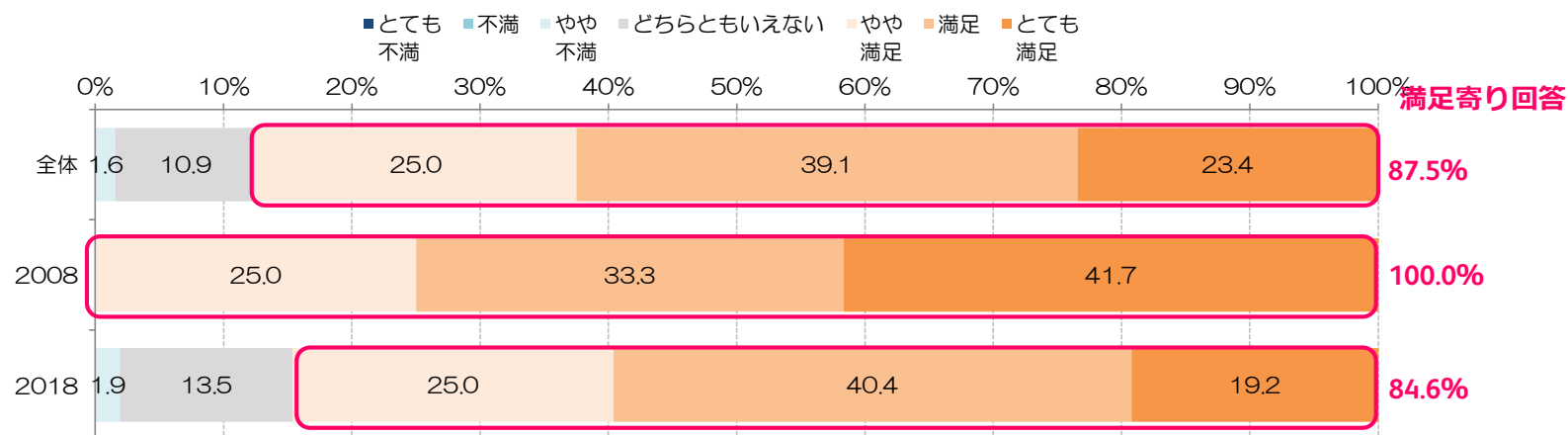


		n	とても不満	不満	やや不満	どちらともいえない	やや満足	満足	とても満足	新卒では就職していない	
全体		84	2	3	6	5	19	21	27	1	
		100.0	2.4	3.6	7.1	6.0	22.6	25.0	32.1	1.2	
卒業年	2007		29	0	1	2	4	3	9	9	1
			100.0	0.0	3.4	6.9	13.8	10.3	31.0	31.0	3.4
	2017		55	2	2	4	1	16	12	18	0
			100.0	3.6	3.6	7.3	1.8	29.1	21.8	32.7	0.0

# 大学に対する満足度 (Q29)

- “2008年卒業生”の方はサンプル数が少ないこともあるが、満足寄りの回答が100%
- “2018年卒業生”は、満足寄りの回答比率は84.6%で、昨年とほぼ変わらない (昨年81.8%)

Q29.自分の大学生生活を振り返ってみて、出身大学に対する総合的な満足度はどの程度ですか。  
(最もあてはまるものをお選びください)

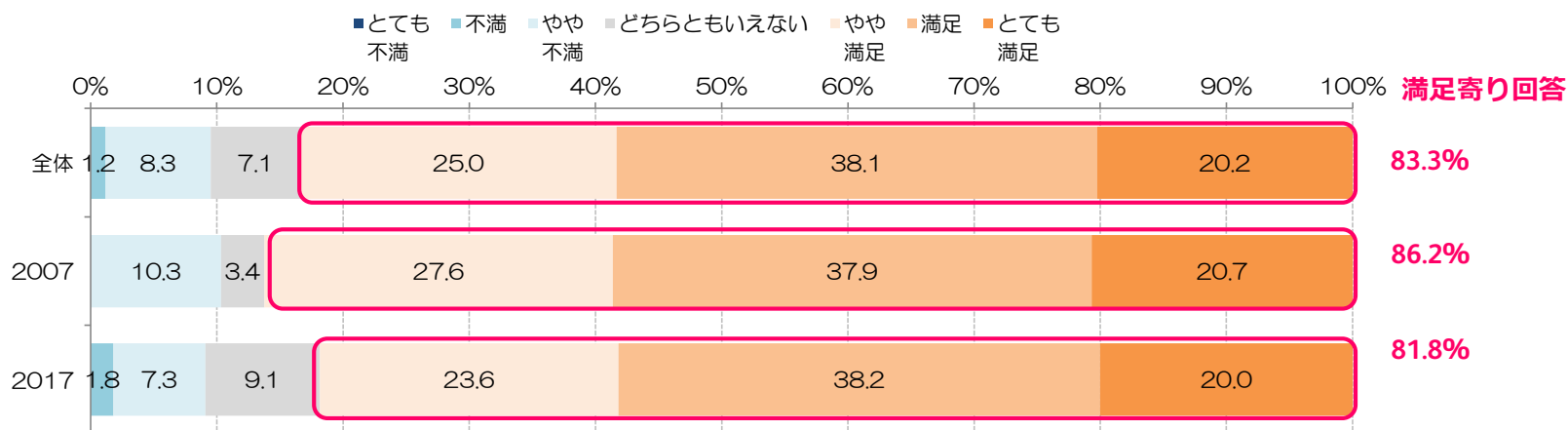


		n %	とても不満	不満	やや不満	どちらともいえない	やや満足	満足	とても満足	
全体		64	0	0	1	7	16	25	15	
		100.0	0.0	0.0	1.6	10.9	25.0	39.1	23.4	
卒業年	2008		12	0	0	0	3	4	5	
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	33.3	41.7
	2018		52	0	0	1	7	13	21	10
			100.0	0.0	0.0	1.9	13.5	25.0	40.4	19.2

# 【参考：前回調査結果】 大学に対する満足度（Q29）

- 8割強の方が満足寄りの回答で、“2007年卒業生”の方がやや満足度は高い
- “2017年卒業生”は、満足寄りの回答比率は昨年とほぼ変わらないが、内訳としてはより満足寄りの回答が増えている

Q29.自分の大学生生活を振り返ってみて、出身大学に対する総合的な満足度はどの程度ですか。  
 (最もあてはまるものをお選びください)

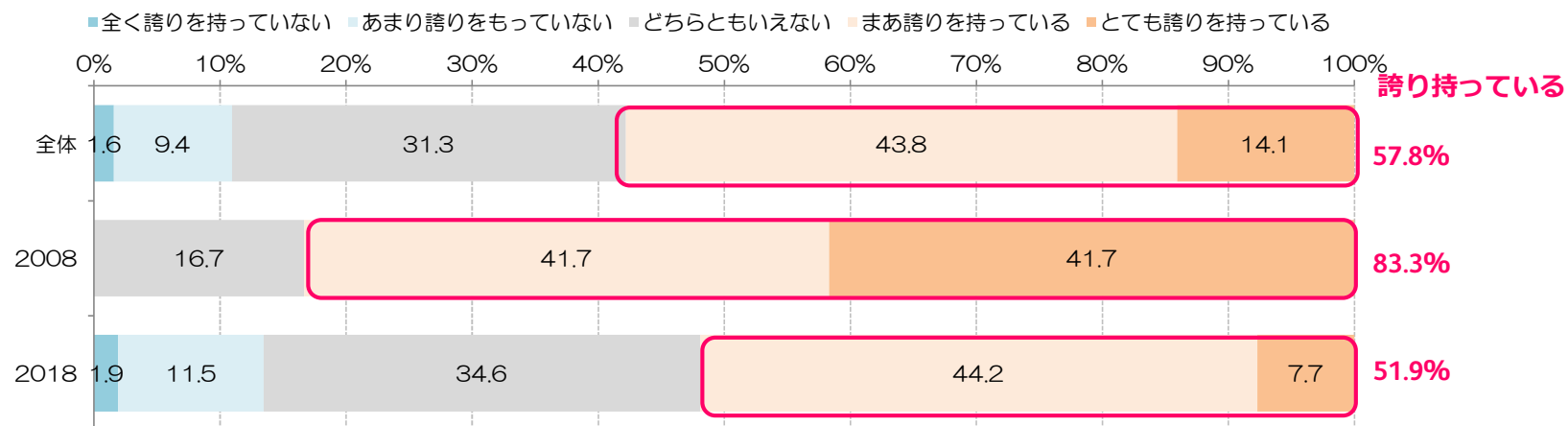


		n %	とても不満	不満	やや不満	どちらともいえない	やや満足	満足	とても満足	
全体		84	0	1	7	6	21	32	17	
		100.0	0.0	1.2	8.3	7.1	25.0	38.1	20.2	
卒業年	2007		29	0	0	3	1	8	11	6
			100.0	0.0	0.0	10.3	3.4	27.6	37.9	20.7
	2017		55	0	1	4	5	13	21	11
			100.0	0.0	1.8	7.3	9.1	23.6	38.2	20.0

# 大学に対する誇り (Q30)

- “2008年卒業生”では誇りを持っている旨の回答比率が83.3%
- “2018年卒業生”では51.9%で、昨年からほぼ変わらない (昨年50.9%)

Q30.ご自分の出身大学に誇りを持っていますか。  
(最もあてはまるものをお選びください)

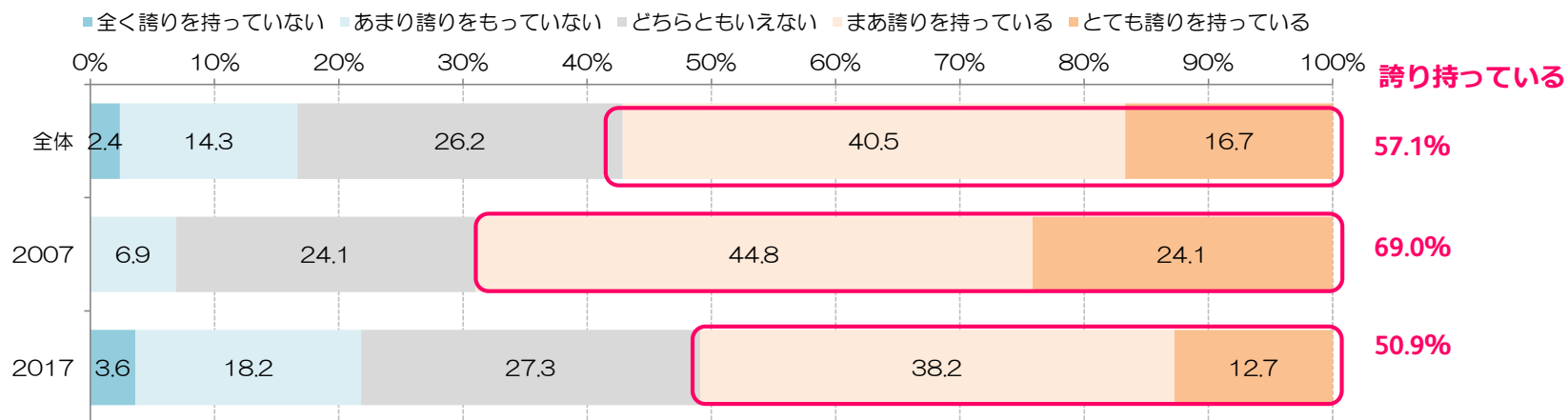


		n	全く誇りを持っていない	あまり誇りをもっていない	どちらともいえない	まあ誇りを持っている	とても誇りを持っている	
全体		64	1	6	20	28	9	
		100.0	1.6	9.4	31.3	43.8	14.1	
卒業年	2008		12	0	0	2	5	5
			100.0	0.0	0.0	16.7	41.7	41.7
	2018		52	1	6	18	23	4
			100.0	1.9	11.5	34.6	44.2	7.7

# 【参考：前回調査結果】大学に対する誇り（Q30）

- “全体”では57.1%の卒業生が誇りを持っていると回答となり、昨年の65.0%から減少。  
減少は“2007年卒業生”も“2017年卒業生”の両方とも。（前회가やや高かったというのはある）
- “2007年卒業生”の方が誇りを持っている方が多い

Q30.ご自分の出身大学に誇りを持っていますか。  
(最もあてはまるものをお選びください)

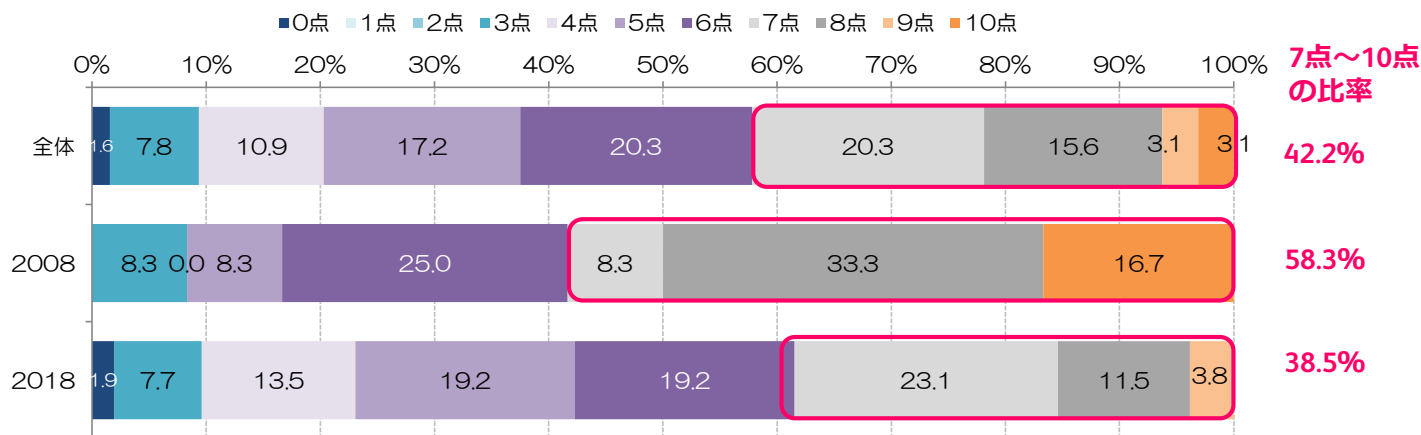


		n	全く誇りを持っていない	あまり誇りをもっていない	どちらともいえない	まあ誇りを持っている	とても誇りを持っている	
全体		84	2	12	22	34	14	
		100.0	2.4	14.3	26.2	40.5	16.7	
卒業年	2007		29	0	2	7	13	7
			100.0	0.0	6.9	24.1	44.8	24.1
	2017		55	2	10	15	21	7
			100.0	3.6	18.2	27.3	38.2	12.7

# 進学推奨度（Q31）

- NPSスコアは“2008年卒業生”で-25.0%（昨年-62.1%） ※サンプル数少数のため変動大きい
- “2018年卒業生”では-57.0%（昨年-54.5%）となっており、昨年から若干スコアが低下
- “2018年卒業生”については、大学に対する満足度・誇り・進学推奨度それぞれ昨年から大きな変化は見られない

Q31.自分の子供、または身内に出身大学への進学を勧めたいと思いますか。  
 （「とても思う」を10点、「全く思わない」を0点として、最もあてはまる数値をお選びください）



		n %	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	
全体		64	1	0	0	5	7	11	13	13	10	2	2	
		100.0	1.6	0.0	0.0	7.8	10.9	17.2	20.3	20.3	15.6	3.1	3.1	
卒業年	2008		12	0	0	0	1	0	1	3	1	4	0	2
			100.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	8.3	33.3	0.0	16.7
	2018		52	1	0	0	4	7	10	10	12	6	2	0
			100.0	1.9	0.0	0.0	7.7	13.5	19.2	19.2	23.1	11.5	3.8	0.0

NPSスコア\*1

全体：-51.6%

2008年：-25.0%

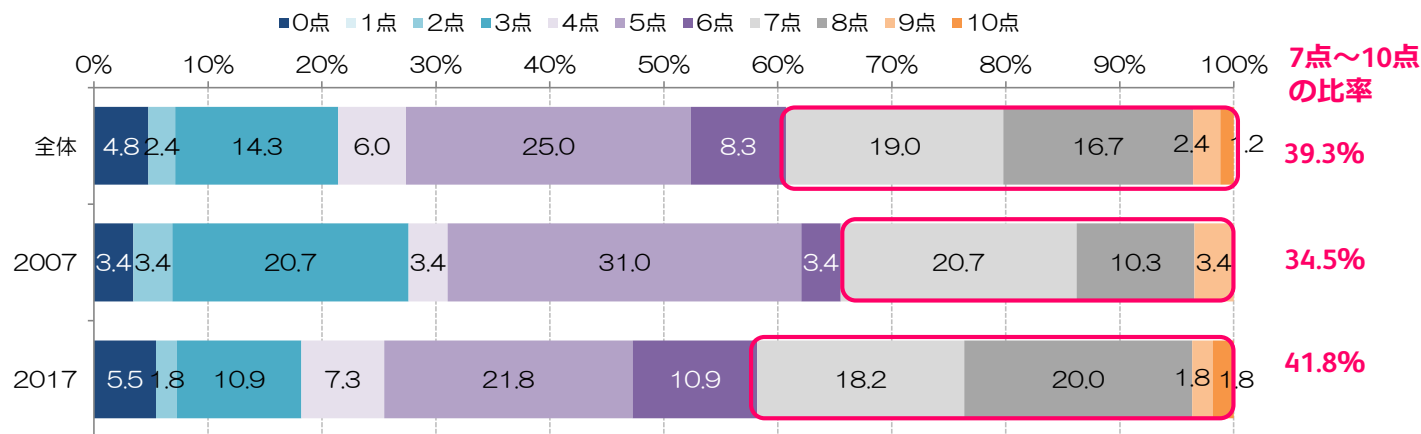
2017年：-57.7%

\*1 スコア = 9~10点を付けた人の比率 - 0~6点を付けた人の比率

# 【参考：前回調査結果】進学推奨度（Q31）

- NPSスコアは“2007年卒業生”で-62.1%（昨年50.0%）、  
“2017年卒業生”では-54.5%（50.6%）となっており、昨年からスコアが低下  
※ “2007年卒業生”は低下が大きいサンプル数が少ないためバラつきが大きい点もあると推察される
- 卒業後5年目の方においては、大学に対する満足度は大きな変化がないが、  
大学に対する誇りやNPSはやや低下ということになる

Q31.自分の子供、または身内に出身大学への進学を勧めたいと思いますか。  
（「とても思う」を10点、「全く思わない」を0点として、最もあてはまる数値をお選びください）



		n %	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	
全体		84	4	0	2	12	5	21	7	16	14	2	1	
		100.0	4.8	0.0	2.4	14.3	6.0	25.0	8.3	19.0	16.7	2.4	1.2	
卒業年	2007		29	1	0	1	6	1	9	1	6	3	1	0
			100.0	3.4	0.0	3.4	20.7	3.4	31.0	3.4	20.7	10.3	3.4	0.0
	2017		55	3	0	1	6	4	12	6	10	11	1	1
			100.0	5.5	0.0	1.8	10.9	7.3	21.8	10.9	18.2	20.0	1.8	1.8

NPSスコア\*1

全体：-57.1%

2007年：-62.1%

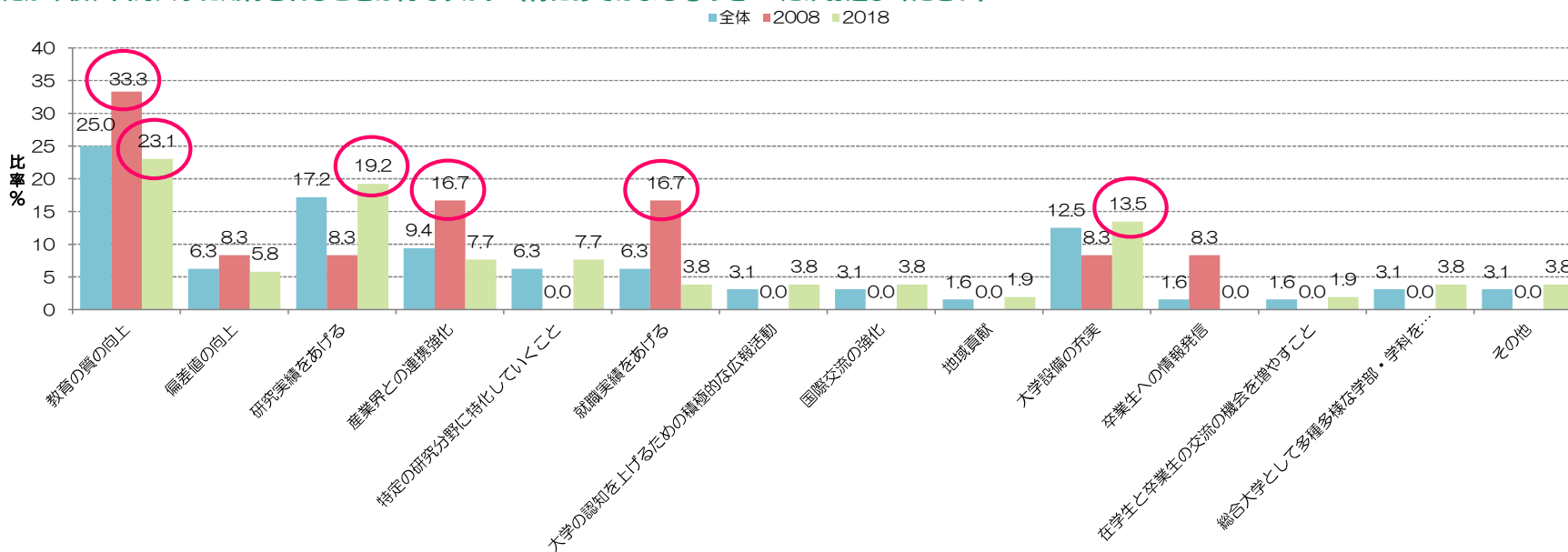
2017年：-54.5%

\*1 スコア = 9~10点を付けた人の比率 - 0~6点を付けた人の比率

# 大学への期待 (Q33)

- 最も期待されているのは過去同様「教育の質の向上」
- 各卒業年で特徴的なものは、「2008年卒業生」は「産業界との連携強化」や「就職実績をあげる」を期待
- 「2018年卒業生」では「研究実績をあげる」や「大学設備の充実」などが比較的高め

Q33.あなたが今後、出身大学に期待されることは何ですか。(特にあてはまるものを1つだけお選びください)



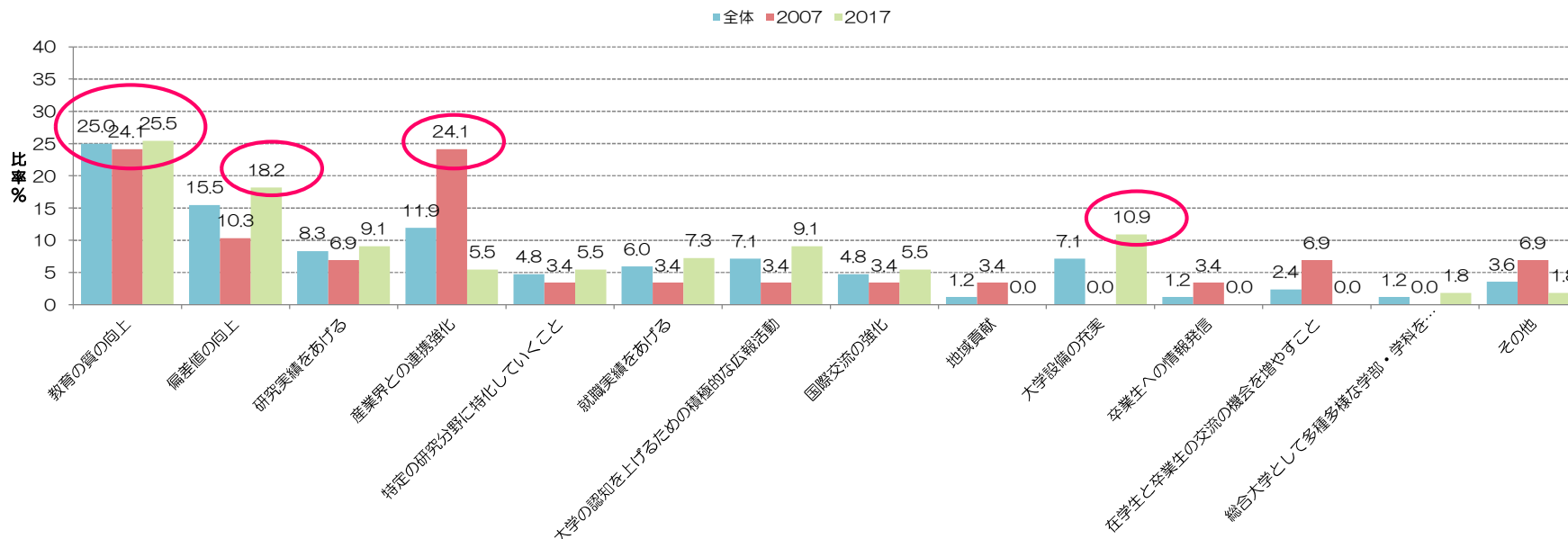
		n	教育の質の向上	偏差値の向上	研究実績をあげる	産業界との連携強化	特定の研究分野に特化していくこと	就職実績をあげる	大学の認知を上げるための積極的な広報活動	国際交流の強化	地域貢献	大学設備の充実	卒業生への情報発信	在学生と卒業生の交流の機会を増やすこと	総合大学として多種多様な学部・学科を設置していくこと	その他
全体		64	16	4	11	6	4	4	2	2	1	8	1	1	2	2
		100.0	25.0	6.3	17.2	9.4	6.3	6.3	3.1	3.1	1.6	12.5	1.6	1.6	3.1	3.1
卒業年	2008	12	4	1	1	2	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0
		100.0	33.3	8.3	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
卒業年	2018	52	12	3	10	4	4	2	2	2	1	7	0	1	2	2
		100.0	23.1	5.8	19.2	7.7	7.7	3.8	3.8	3.8	1.9	13.5	0.0	1.9	3.8	3.8



# 【参考：前回調査結果】大学への期待（Q33）

- 最も期待されているのは過去同様「教育の質の向上」で各卒業年で25%前後の方が回答
- 各卒業年で特徴的なものは、「2007年卒業生」は「産業界との連携強化」を期待
- 「2017年卒業生」では「偏差値の向上」や「大学設備の充実」などが比較的高め

Q33.あなたが今後、出身大学に期待されることは何ですか。（特にあてはまるものを1つだけお選びください）



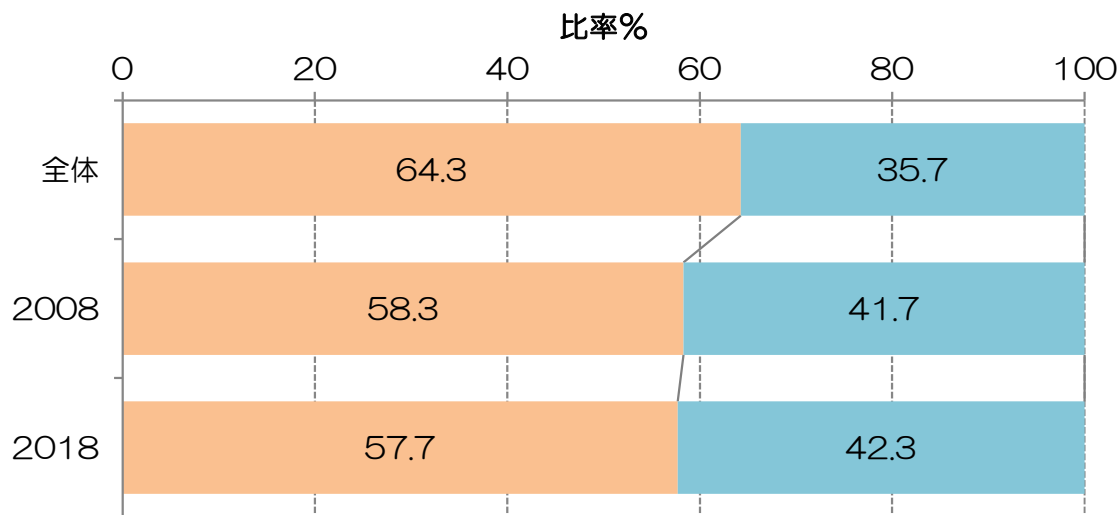
		n	教育の質の向上	偏差値の向上	研究実績をあげる	産業界との連携強化	特定の研究分野に特化していくこと	就職実績をあげる	大学の認知を上げるための積極的な広報活動	国際交流の強化	地域貢献	大学設備の充実	卒業生への情報発信	在学生と卒業生の交流の機会を増やすこと	総合大学として多種多様な学部・学科を設置していくこと	その他	
全体	n	84	21	13	7	10	4	5	6	4	1	6	1	2	1	3	
	%	100.0	25.0	15.5	8.3	11.9	4.8	6.0	7.1	4.8	1.2	7.1	1.2	2.4	1.2	3.6	
卒業年	2007	n	29	7	3	2	7	1	1	1	1	1	0	1	2	0	2
		%	100.0	24.1	10.3	6.9	24.1	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	3.4	6.9	0.0	6.9
	2017	n	55	14	10	5	3	3	4	5	3	0	6	0	0	1	1
		%	100.0	25.5	18.2	9.1	5.5	5.5	7.3	9.1	5.5	0.0	10.9	0.0	0.0	1.8	1.8

# 追加アンケートの協力依頼可否（Q35）

- 昨年に続き今回のアンケートでも、最後に追加アンケートを行う場合大学から連絡をしてもよいかその可否を聴取
- 6割弱の方が「連絡をもらうのは問題ない」と協力的な回答

Q35.本学では教育改革や教育プログラムの改善を目的に、卒業生の方に個別で詳しくお話をお伺いさせて頂くことがございます。  
 本学からそうしたご相談のご連絡を差し上げることは可能でしょうか？  
 （例：メールでご相談のご連絡をさせて頂き、TeamsやZoom等のオンラインツールでお話をお伺いする）

■ 相談の連絡をもらうのは問題ない ■ そのような連絡はしないでほしい



		n %	相談の連絡をもらうのは問題ない	そのような連絡はしないでほしい
全体		84	54	30
		100.0	64.3	35.7
卒業年	2008	12	7	5
		100.0	58.3	41.7
2018		52	30	22
		100.0	57.7	42.3

## 5. アンケート結果まとめ（アンケート結果整理）

### 調査方法や 回答状況に ついて

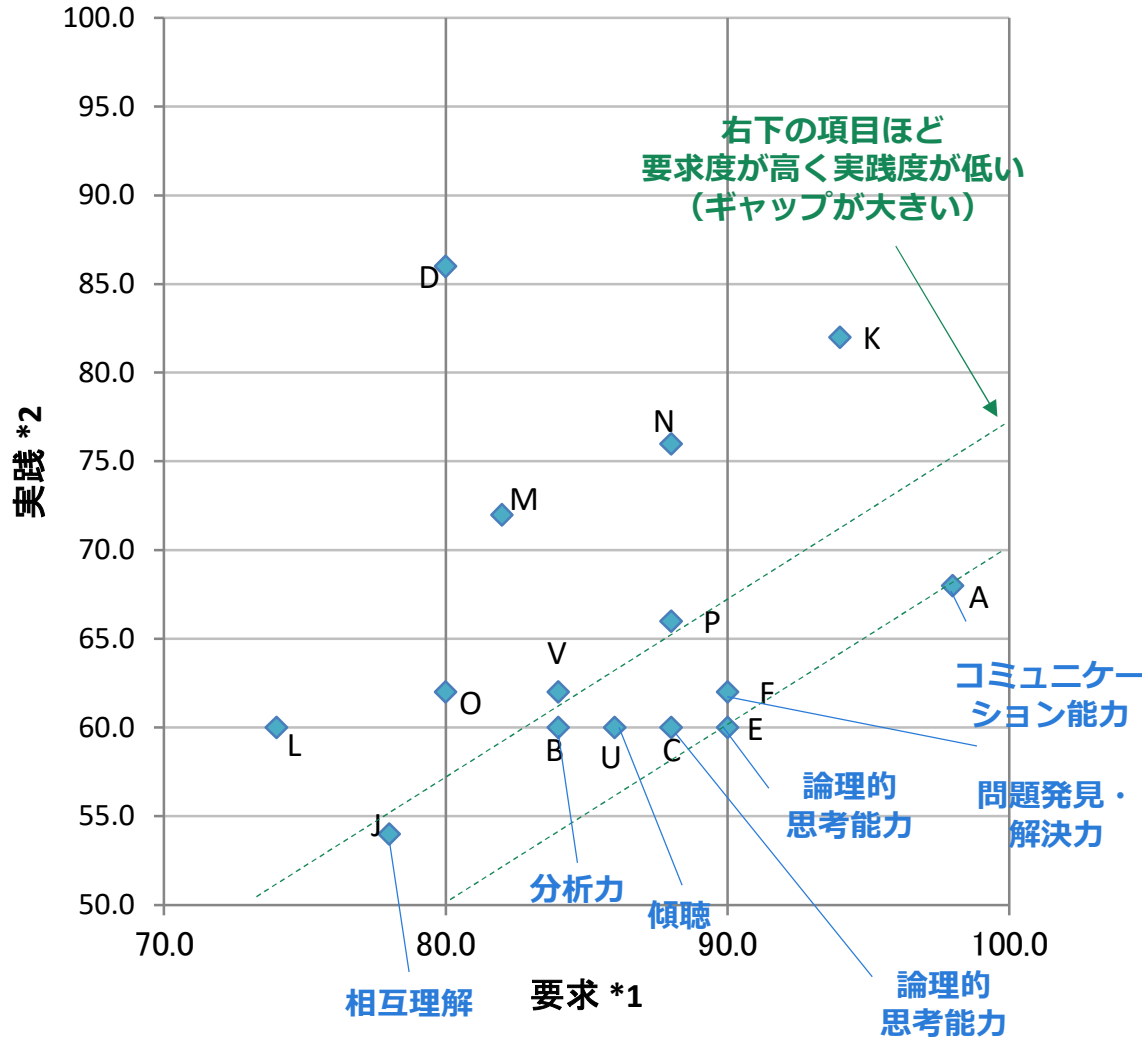
- アンケート実施結果： **対象者数：1,283件**    **回収数：64件**    **回収率：5.0%**
- 今回は昨年の5.8%（対象者数：1,458件、回収数：84件）よりも回答率が低下してしている状況で、特に卒業後15年目の回答数が減少（昨年29名が今年12名）
  - ⇒ **現状の回答率で分析のために十分な回答数が得られるか、また、アンケート施策の投資対効果などから、対象者やアンケート実施方法を再考した方が良いと考える。**  
**例）2年分の対象者（卒業後5/6年、15/16年）に対して2年に1回の頻度でアンケートを実施**

### 回答内容 について

- 仕事において要求されていると感じるもの
  - 卒業後15年目（2008年卒業生）：「コミュニケーション能力」「問題発見・解決力」
  - 卒業後5年目（2018年卒業生）：「コミュニケーション能力」「問題発見・解決力」「論理的思考能力」
- 仕事において実践できているもの
  - 卒業後15年目（2008年卒業生）：「業務用ソフトの操作」「論理的思考能力」
  - 卒業後5年目（2018年卒業生）：「業務用ソフトの操作」「コミュニケーション能力」「論理的思考能力」
- その他特徴的な点
  - 卒業後5年目の2018年卒業生で転職経験ありの方が、昨年から9%程度増加
  - **2018年卒業生では、現在の仕事と進路希望の合致度、学んだ専門と業務内容の合致度が、数年のスパンで増加傾向にあったが、今回はやや低下**
  - **合わせて、卒業時の就職先への満足度も若干低下**
  - **大学への満足度は各卒業年で8割以上が満足寄りの回答**だが、誇りに思うかの質問では2018年卒業生で好意的回答が約5割まで減少（昨年ほぼ同様）、NPSは2018年卒業生で大きな変化なし（2008年卒業生はサンプル数少数）

# 5. アンケート結果まとめ（教育プログラム改善・強化の方向性提言）

要求度と実践度（卒業後5年目） ※p.26より



\*1: 「とくに求められている」「それなりに求められている」の回答比率の合算  
 \*2: 「後輩や部下等に指導できる」「一人でできる」の回答比率の合算

## 教育プログラムの改善・強化項目案

大学の教育プログラムや活動を通じて、下記の能力や姿勢を強化していく

- 論理的思考能力
  - 問題発見・解決力
  - 分析力

「自ら思考し、大学や仕事で獲得した知識や専門性を活用できる/実践する力」

キーワード、メソッド例

- ・STEM教育
- ・アクティブラーニング
- ・Project Based Learning
- ・産業界連携 etc

- コミュニケーション能力
  - 傾聴
  - 相互理解

「他者と協力・共通理解を図りながら、物事を進めるために必要な能力/姿勢」

キーワード、メソッド例

- ・対話型の学習 (グループディスカッション/ワーク等)
- ・対面コミュニケーション
- ・ヒューマンスキルそのものを学ぶ授業や講座 etc

教育プログラム改善・強化の方向性 (提言)

**FUJIFILM**  
Value from Innovation